WS005IN
netindex

取扱説明書（保証書）

はじめに

このたびは、「WS005IN」（以降、本製品と呼びます）をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書を必ずお読みいただき、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」（☞4〜9ページ）は、必ずお読みいただき、安全に正しくお取り扱いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

本製品は、安心設定により発着信電話番号を制限することができます。保護者の方が、安心設定を行うことで、お子様がご利用になる際、迷惑メールや悪意のある第三者との通話やメールを防止することができます。
お子様がご利用になる前に、本書をお読みのうえ、各設定を行ってください。

■ユーザー登録は、当社ホームページ上からオンラインで行ってください。
ユーザー登録時にはご使用のW-SIM（☞3ページ）本体に記載しておりますシリアルナンバー（数字9桁）をご入力いただき、W-SIMをユーザー登録します。事前にシリアルナンバーをお控えの上ご入力ください。
当社ホームページアドレス：URL http://www.netindex.co.jp/

おことわり

本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
本書の内容については万全を期してはおりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
乱丁、落丁はお取り替えいたします。
本製品のフォントは株式会社リコーが製作、販売したリコービットマップフォントを使用しております。
日本語変換は、オムロンソフトウェア株式会社のモバイルWnnを使用しています。

WILLCOMおよびウィルコムは、株式会社ウィルコムの登録商標です。
その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

W-SIM（ウィルコムシム）について

W-SIM（ウィルコムシム）とは、PHS無線通信技術（アンテナ部および無線機）を搭載し、ユーザーデータを合わせ持つ汎用性のある多機能通信モジュールです。
W-SIMは抜き差しが可能ですので、本製品以外のW-SIM対応端末（データ通信カードなど）に取り付けることで、いろいろなシーンで多種多様に利用することができます。

お願い

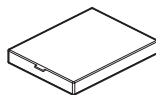
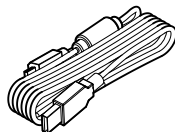
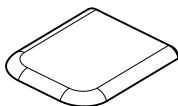
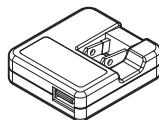
- 本製品を落下した際に、W-SIMカバー（☞22ページ）が開き、W-SIMが飛び出すことがあります。その際は、W-SIMを奥までしっかり差し込み、W-SIMカバーを閉じてお使いください（「W-SIMを取り付ける」☞32ページ）。

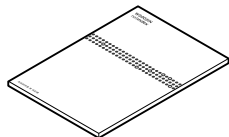
お知らせ

- 本製品は、通信中着信機能※に対応しておりません。通信中着信機能が搭載されたW-SIMをご利用の場合でも本製品に取り付けた場合は、ご利用になれません。 ※通信中に着信の有無をお知らせする機能です。

梱包品の確認

●本体
（WS005IN）

●リチウムポリマーバッテリー
（LISALIPL-100）

●充電用ケーブル
（LISACBL-100）

●バッテリーカバー

●ACアダプタ
（GRVADP-100）

●W-SIM（ウィルコムシム）

●取扱説明書（保証書）

●かんたんガイド

お知らせ

● 本体のみご購入の場合は、W-SIMは同梱されておりません。

お 願 い

● リチウムポリマーバッテリーとバッテリーカバーの取り付けかたについては、「バッテリーの交換」（☞134ページ）をご参照ください。

安全上のご注意

安全にお使いいただくために必ずお読みください

- この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
- 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

表示の説明

⚠危険	⚠警告	
この表示は「人が死亡または重傷※1を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。	この表示は「人が死亡または重傷※1を負う可能性が想定される内容」を示しています。	この表示は「人が傷害※2を負う可能性が想定される内容や物的損害※3の発生が想定される内容」を示しています。

※1 「重傷」とは、失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2 「傷害」とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

※3 「物的損害」とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

図記号の説明

行ってはいけない(禁止)内容を示しています。	分解してはいけない(禁止)内容を示しています。	必ず実行していただく(強制)内容を示しています。	電源プラグをコンセントから抜いていただく(強制)内容を示しています。

免責事項について

- 地震および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社はその責任を負えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(記憶内容の変化・消失・事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社はその責任を負えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社はその責任を負えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- 当社が関与していない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社はその責任を負えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

本体／バッテリー／充電用ケーブル／ACアダプタ 共通

危険 必ず、以下の危険事項をお読みになってからご使用ください。

強制

必ず専用の周辺機器をご使用ください。発熱・発火・破裂・故障・液漏れの原因となります。
本製品周辺機器
• リチウムポリマーバッテリー〈LISALIPL-100〉
• 充電用ケーブル〈LISACBL-100〉
• ACアダプタ〈GRVADP-100〉

禁止

高温になる場所（火のそば、ストーブのそば、炎天下など）や引火性ガスの発生するような場所での使用や放置はしないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。

禁止

電子レンジや高温容器などの中に入れないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。

禁止

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

禁止

接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入れたりしないようにしてください。火災や故障の原因となります。

禁止

ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む場合、電源プラグに金属製のストラップやアクセサリーなどを接触させないでください。火災・感電・傷害・故障の原因となります。

警告 必ず、以下の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

落下させる、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。発熱・発火・破裂・故障・液漏れの原因となります。

禁止

屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電の恐れがあります。

分解禁止

分解や改造をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。
修理などは当社窓口にご相談ください。

禁止

水などの液体をかけたりしないでください。また、水などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。（雨天・降雪中・海岸・水辺などでの使用は特にご注意ください。）万一、液体がかかってしまった場合には直ちに電源プラグを抜いてください。水に濡れた場合や湿気による故障は保証外となり、修理ができません。

つづく

⚠注意 必ず、以下の注意事項をお読みになってからご使用ください。

禁止 バッテリーカバーを取り外したまま使用しないでください。

禁止 直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。変形や故障の原因となる場合があります。

禁止 ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。また、衝撃などにも十分ご注意ください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。

禁止 幼児の手の届く場所には置かないでください。傷害などの原因となる場合があります。

禁止 湿気の多い場所で使用しないでください。身に付けている場合は汗による湿気が故障の原因となる場合があります。水に濡れた場合や湿気による故障と判明した場合は保証の対象外となり、修理ができません。

禁止 使用中に煙が出る、においがする、異常な音がする、発熱しているなど異常が起きたら使用をしないでください。異常が起きた場合は電源を切り、バッテリーを外してご連絡ください。また、水に濡れたり、落下したり、破損したりした場合などもそのまま使用せず、ご連絡ください。

禁止 お客様による修理などは危険ですから、絶対にしないでください。

禁止 外部から電源が供給されている状態の本体・バッテリー・充電用ケーブル・ACアダプタに長時間、触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。

禁止 コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

禁止 W-SIMの挿入口(☞32ページ)に異物などを入れないでください。W-SIMスロットを傷つけてW-SIMの破損の原因となります。

本体について

危険 誤った取り扱いをすると、発熱・液漏れ・破裂のおそれがあり危険です。必ず、以下の危険事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

赤外線通信ポートを目に向けて送信しないでください。目に影響を与える可能性があります。また、その他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

警告 必ず、以下の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

交通事故の原因になりますので、自動車などを運転中は使用しないでください。運転者が使用する場合は、駐車を禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。

強制

通話するときは周囲の安全を確認してください。安全を確認せずに通話すると、転倒、交通事故の原因となります。

禁止

運航の安全に支障をきたすおそれがありますので、航空機内では使用しないでください。（電源をお切りください。）

強制

埋め込み型心臓ペースメーカや医用電気機器の近くでPHSを使用される場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、以下のことを守ってください。

1. 埋め込み型心臓ペースメーカを装着されている方は、PHSをペースメーカから離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカを装着している方がいる可能性がありますので、PHSの電源を切るように心がけてください。
3. 医療機関の屋内では以下のことに注意してご使用ください。
   - 手術中・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはPHSを持ち込まないでください。
   - 病棟内では、PHSの電源を切ってください。
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、PHSの電源を切ってください。
   - 医療機関が個々にPHSの使用禁止・持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で埋め込み型心臓ペースメーカ以外の医用電気機器を使用されている場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

強制

高精度な電子機器の近くでは電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。（影響を与えるおそれがある機器の例：ペースメーカ・補聴器・その他医療用電子機器・火災報知器・自動ドアなど。医療用電子機器をお使いの場合は機器メーカまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。）

つづく

⚠注意 必ず、以下の注意事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与えたり、受けたりする場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

強制

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。
（「使用材料と表面処理について」☞12ページ）

バッテリーについて

本製品のバッテリーは、リチウムポリマーバッテリーです。
バッテリーはお買い上げ時には十分充電されていません。必ず充電してからお使いください。
なお、リチウムポリマーバッテリーの取り扱いについては、「バッテリーについて」（☞11ページ）をご参照ください。

⚠危険 誤った取り扱いをすると、発熱・液漏れ・破裂のおそれがあり危険です。必ず、以下の危険事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

（＋）（－）端子およびもう1つある端子部分はショートさせないでください。

禁止

釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。発火や破損の原因となります。

禁止

持ち運ぶ際や保管するときは、金属片などと接続端子が触れないようにしてください。ショートによる火災や故障の原因となります。

分解禁止

分解・改造をしたり、直接ハンダ付けをしたりしないでください。バッテリー内部の液が飛び出し、目に入ったりして失明などの事故や、発熱・発火・破損の原因となります。

禁止

バッテリーを水や海水などで濡らさないでください。バッテリーが濡れると、発熱･破裂･発火の原因となります。誤って水などに落としたときは、直ちに電源を切り、バッテリーを外して、お買い上げの販売店またはウィルコムサービスセンター（☞151ページ）までご連絡ください。

禁止

破損や液漏れしたバッテリーを使用しないでください。

強制

内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、傷害を起こすおそれがあるので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがあるので、こすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けてください。

強制

充電する場合は、必ず専用の充電用ケーブルとACアダプタを使用してください。
- 充電用ケーブル〈LISACBL-100〉
- ACアダプタ〈GRVADP-100〉

充電用ケーブル／ACアダプタについて

警告 誤った取り扱いをすると、発熱･発火･感電などのおそれがあります。必ず、以下の警告事項をよくお読みになってからお使いください。

指定の充電用ケーブルおよびACアダプタを使用し、指定以外の電源電圧では使用しないでください。火災や感電などの原因となります。海外で使用する場合には、別途、適合した電源プラグの形状のアダプタをご使用ください。

ACアダプタの電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、感電や発熱・発火による火災の原因となります。ゆるんだコンセントは使用しないでください。

充電用ケーブルを傷付けたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだコードは使用しないでください。感電・ショート・火災の原因となります。

雷が鳴り出したらACアダプタの電源プラグに触れないでください。落雷による感電の原因となります。

お手入れをするときには、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れをすると感電やショートの原因となります。また、ACアダプタの電源プラグに付いたほこりはふき取ってください。そのまま放置すると火災の原因となります。

水やペットの尿など液体がかからない場所で使用してください。発熱・火災・感電・回路のショートによる故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプタの電源プラグを抜いてください。

注意 誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電・故障・物的損害などのおそれがあります。必ず以下の注意事項をお読みになってからお使いください。

風呂場などの湿気の多い場所では､絶対に使用しないでください。感電の原因となります。

濡れたバッテリーを使用しないでください。

充電は安定した場所で行ってください。傾いたところや、ぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。本製品が外れたり、火災や故障の原因となります。

ACアダプタの電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って抜いてください。
充電用ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

取扱上のお願い

本体／バッテリー／充電用ケーブル／ACアダプタ共通

- **無理な力がかかると、ディスプレイや内部の基板などが破損し故障の原因にもなりますので、ズボンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、かばんの中で重いものの下になったりしないよう、ご注意ください。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。**
- 本製品をお使いのときに、そらしたり、無理な力を加えたりしないでください。故障や破損の原因となります。取り扱いには十分にご注意ください。
- 極端な高温・低温・多湿はお避けください。
  （周辺温度5℃～35℃、湿度45％～85％の範囲内でご使用ください。）
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 汚れた場合は柔らかい布で乾拭きをしてください。ベンジン・シンナー・アルコール・洗剤などを用いると外装や文字が変質するおそれがありますので、使用しないでください。
- 一般電話・テレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 通話中や充電中など、温かくなることがありますが異常ではありません。
- バッテリーは、電源を切ってから取り外してください。

本体について

- 公共の場所でのご使用の際は、周囲の迷惑にならないようご注意ください。
- 発着信電話番号やメモ帳などに登録した内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は手帳などに控えておいてください。なお、事故や故障が原因で発着信電話番号やメモ帳などが変化・消失した場合の損害および損失利益につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ストラップなどを持って振り回さないでください。けがなどの事故、故障や破損の原因となることがあります。また、ヒモが傷ついているなど、傷んだストラップは取り付けないでください。
- 強く押す、たたくなど、故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。キズの発生や、破損の原因となることがあります。
- ポケットおよびバッグなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの堅い部材にあたらないようにしてください。また、金属などの堅い部材がディスプレイに触れるストラップは、キズの発生や破損の原因となることがありますのでご注意ください。
- 受話音声をお聞きになるときは、受話部が耳の中央にあたるようにしてお使いください。受話部（音声穴）が耳周囲に塞がれて音声が聞きづらくなる場合があります。
- 寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合や、湿度の高い場所で使用された場合、本体内部に水滴が付くことがあります（結露といいます）。このような条件下での使用は故障の原因となりますので、ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口などの近くに置かないでください。急激な温度変化により結露すると、内部が腐食し故障の原因となります。
- 水をかけないでください。本製品は、防水仕様になっておりません。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本製品に使用しているディスプレイは、極めて稀にバックライトがOFFになった際に黒いラインが入る場合がございますが、表示機能および性能には影響がございませんので、あらかじめご了承ください。

バッテリーについて

- 夏季、閉めきった車内に放置するなど極端な高温や低温環境では、バッテリーの容量が低下し利用できる時間が短くなります。また、バッテリーの寿命も短くなります。できるだけ常温でお使いください。
- 長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
（充電中、バッテリーが温かくなることがありますが異常ではありません。）
- バッテリーには寿命があります。充電をくり返すうちに利用可能時間は徐々に短くなります。最初に比べて半分程度になってきたら交換時期です。新しいバッテリーをお買い求めください。なお、バッテリーの寿命は使用状態などにより異なります。
- 不要になったバッテリーは一般のゴミと一緒に捨てないでください。

Li-ion 00

環境保護のため、寿命がきたバッテリーは普通のゴミと一緒に捨てずに最寄りのウィルコムプラザ／ウィルコムカウンター、またはリサイクル協力店などにお持ちください。

充電式電池の収集･リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：
有限責任中間法人JBRC
TEL：03-6403-5673
ホームページ：http://www.jbrc.com

充電用ケーブル／ACアダプタについて

- ご使用にならないときは、ACアダプタの電源プラグをコンセントから外してください。
- 充電中､周囲の温度が高いかもしくは低いと保護機能がはたらき､充電できない場合があります。充電ケーブルを外し､周囲温度が5℃～35℃の場所にしばらく置いてから､再度充電してください。

暗証番号について

- 本製品には、本製品の暗証番号、安心設定の暗証番号、LI暗証番号の3種類の暗証番号があります。
  - 本製品の暗証番号は、ダイヤルロックや設定リセット、メールや発着信電話番号の全件削除などの機能を利用するときに必要な暗証番号です。
  - 安心設定の暗証番号は、発着信電話番号を登録、編集するときに必要な暗証番号です。
  - LI暗証番号は、LI機能(☞125ページ)を設定するときに必要な暗証番号です。

お買い上げ時：
暗証番号：「0000」
安心設定の暗証番号：
「00000000」
LI暗証番号：「0000」

お願い

- 暗証番号は、お買い上げ時の設定から、変更することができます(☞108、109、127ページ)。
- 暗証番号は秘密保持および、誤操作防止のために使用される大切な番号です。番号をお忘れにならないようにご注意ください。
- 本製品の暗証番号をお忘れになった場合は、出荷時設定(☞110ページ)を行ってください。本製品の暗証番号がお買い上げ時の状態に戻ります。出荷時設定を行うには、安心設定の暗証番号の入力が必要です。
- 安心設定の暗証番号およびLI暗証番号をお忘れになった場合は、修理での対応となりますので、ウィルコムサービスセンター(☞151ページ)にお問い合わせください。

本製品の暗証番号				

LI暗証番号				

安心設定の暗証番号								

使用材料と表面処理について

使用箇所	使用材料	表面処理
外装ケース	PC	UV塗装
ディスプレイウインドウパネル	PMMA	ハードコート
キー	PC	UV塗装

マナーについて

マナーもいっしょに携帯しましょう

周囲への心配りを忘れずに、楽しく安全に使いましょう。

使用禁止の場所では電源を切りましょう

- 電波が飛行に支障をきたすおそれがあるので、航空機内では電源を切っておきましょう。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカを装着している方がいる可能性がありますので、PHSの電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

使用する場所の状況や、声の大きさに気をつけましょう

- 自動車運転中の使用は危険なため法律で禁止されています。運転中は電源を切るか安全運転モード(☞49ページ)などにして安全運転を心がけましょう。
- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、電話をかけることを控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように、電源を切るかマナーモード(☞51ページ)を利用しましょう。
- 街中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。
- 電車の車内やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。

もくじ

つづく

2 基本的な使いかた

3 文字の入力と設定

つづく

5 メールの使いかた (つづき)

6 音/バイブレータ/LEDの設定

7 画面/照明の設定

8 セキュリティ機能の設定

9 その他の便利な機能

つづく

10 ウィルコムの各種サービス

11 付　録

1 ご使用になる前に

本書の読みかた

ここでは、本書の説明方法やマークにどのような意味があるのかを紹介します。

- キー操作の表記については、「キー操作の基本」(☞26ページ)をご参照ください。
- 下記のページは説明のためのサンプルです。

W-SIMの認証コード(PINコード)を設定する 〈W-SIM設定〉 機能番号75

W-SIMを有効にするための認証コード(PINコード)の変更や、本製品の電源を入れたときに、W-SIMの認証コード(PINコード)の入力を必要とするかどうかの設定(認証設定)を行います。
設定は、W-SIMの機能をよくご理解した上で行ってください。

お買い上げ時：「解除」

待受画面で

[MENU] ➡ 7 5

以下の項目から選択します。

1 認証コード変更	➡ [OK] ➡ 認証コード(PINコード)を入力し、[決定] ➡ 新認証コード(新PINコード)を入力し、[決定] ➡ もう一度新認証コード(新PINコード)を入力し、[決定] W-SIMの認証コード(PINコード：4～16桁の数字)を変更します。W-SIMの認証が設定されているときのみ変更できます。
2 認証設定	■W-SIMの認証を設定するとき(W-SIMの認証が解除されているとき) ➡ [OK] ➡ 認証コード(PINコード)を入力し、[決定] ➡ もう一度認証コード(PINコード)を入力し、[決定] W-SIMの認証コード(PINコード：4～16桁の数字)を設定し、電源を入れたときに認証コード(PINコード)の入力が必要になります。 ■W-SIMの認証を解除するとき(W-SIMの認証が設定されているとき) ➡ [OK] ➡ 暗証番号入力 ➡ 認証コード(PINコード)を入力し、[決定] ➡ 「はい」を選択し、[決定] W-SIMの認証コード(PINコード)を削除し、W-SIMの認証を解除します。

お願い

- W-SIMの認証コード(PINコード)の入力を続けて10回まちがえると、「PUKコードを入力してください。」と表示されます。
  PUKコードを入力すると、新しく認証コード(PINコード)を登録することができます。PUKコードは、お使いのW-SIMの保証書に記載されています。万一、W-SIMの保証書を紛失された場合は、修理での対応となりますので、ウィルコムサービスセンター(☞151ページ)にお問い合わせください。
- 認証コード(PINコード)は必ずメモを取るなどして、手元にお控えください。万一認証コード(PINコード)をお忘れになった場合は、修理での対応となりますので、ウィルコムサービスセンター(☞151ページ)にお問い合わせください。

8 セキュリティ機能の設定

つづく 111

各部の名称と機能

各部の名称

各部の機能

❶ **ディスプレイ**：（「ディスプレイの見かた」☞24ページ）

❷ **カーソルキー** ◎◎◎◎：画面上のカーソルを移動するときに押します。

- 待受中に ◎を押すと、発信履歴（リダイヤル）が表示されます。
- 待受中に ◎を押すと、着信履歴が表示されます。
- 待受中に ◎を押すと、スケジュールが表示されます。

❸ **左機能キー** ◻：ディスプレイ左下に表示している機能を操作するときに押します。

❹ **センターキー** ◉：各機能の登録や設定をするとき、また選んだ項目を確定するときに押します（ディスプレイ中央下に表示している機能を操作するときに押します）。

❺ **通話キー** ◯：電話をかけるときや受けるときに押します。
文字入力中は、文字入力モードを切り替えます。

❻ **ダイヤルキー**：電話番号や文字を入力するときに押します。

❼ **コネクタキャップ**：充電用ケーブルを接続するときに開きます。

❽ **イヤースピーカー（受話口）**：通話中に相手の声が聞こえます。

❾ **表示ランプ**：電話の着信時やメールの受信時に点灯します。

❿ **キーロックキー** ▯：キーロックを設定/解除するときに押します。

⓫ **右機能キー** ◻：ディスプレイ右下に表示している機能を操作するときに押します。

⓬ **電源・終話キー** ◯：電話を切るときに押します。また電源を入れるときや切るとき、
機能の設定を終了するときに押します。

⓭ **マイク（送話口）**：通話中に自分の声を相手に伝えます。

⓮ **W-SIMカバー**：W-SIMの取り付け・取り外しをするとき、このカバーを開けます。

⓯ **ストラップ取付部**：ここにストラップを取り付けます。

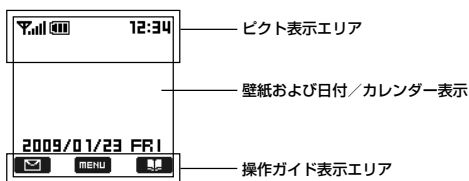
⓰ **赤外線通信ポート**：赤外線通信を行うときに使用します。

⓱ **スピーカー**：電話がかかってきたとき、着信音が鳴ります。

⓲ **バッテリーカバー**：バッテリーを交換するとき、このカバーを開きます。

⓳ **W-SIMカバー爪掛け部**：W-SIMカバーを開けるときに使用します。

ディスプレイの見かた

ディスプレイに表示される内容は次のようになっています。

お知らせ

- 本書内の画面表記では、ピクト表示エリアを省略している場合があります。
- 本書内の画面表記は実際の画面と書体や形状、明るさが異なる場合があります。

ディスプレイの照明について

電源を入れたときや、電話／メールの着信があったとき、キー操作中などに照明が点灯します。
ディスプレイの照明の点灯時間や明るさを、お好みに合わせて変更することができます。

- 「画面の点灯時間を設定する」☞104ページ
- 「画面の明るさを設定する」☞105ページ
- 「画面のコントラストを設定する」☞105ページ

ピクト表示エリア

表示内容	表示の意味
（電波状態表示）	受信している電波状態を表示します。
	弱 ←→ 強（電波が十分届いています）
	圏外　サービスエリア外にいるか、電波が届いていません。
	OFF　停波モードがONになっているため、電波の送受信が停止中です。
	W-SIMが取り付けられていないときに表示されます。
（バッテリー残量表示）	バッテリー残量の目安を表示します。
	充電中を示します。
	十分残っています。／少なくなっています。
	あまりありません。充電してください。
	ほとんどありません。充電してください。 （警告音が鳴り、約60秒後に電源が切れます。）

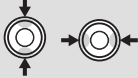
表示内容	表示の意味
（未読メール 有）	未読のメールがあるときに表示されます。
（通話中表示）	通話中に表示されます。
12:34（時計表示）	現在の時刻が表示されます。
（バイブレータ表示）	音声着信(☞98ページ)のバイブレータを設定しているときに表示されます。
（サイレント表示）	音声着信(☞97ページ)の着信音量を「OFF」に設定しているときに表示されます。
（マナーモード表示）	マナーモード(☞51ページ)を設定しているときに表示されます。
（安全運転モード）	安全運転モード(☞49ページ)を設定しているときに表示されます。
（留守録設定中）	留守録(☞47ページ)を設定しているときに表示されます。
（録音件数表示）	留守録の録音件数が表示されます(☞47ページ)。
（小声通話中表示）	小声通話中(☞43ページ)に表示されます。
（ダイヤルロック表示）	ダイヤルロック(☞109ページ)を設定しているときに表示されます。
LI（位置情報〔LI〕表示）	自動位置情報送出(☞125ページ)を設定しているときに表示されます。
（アラーム表示）	アラーム(☞118ページ)を設定しているときに表示されます。
分計（料金分計表示）	料金分計(☞132ページ)を設定しているときに表示されます。

壁紙および日付／カレンダーの表示

表示内容	表示の意味
壁紙表示	壁紙はお好みに合わせて設定できます(「待受画面の壁紙を設定する」☞104ページ)。
日付／カレンダー表示	日付と時刻を設定し(☞34ページ)、時計の表示方法を設定して表示します(☞120ページ)。

操作ガイド表示エリア

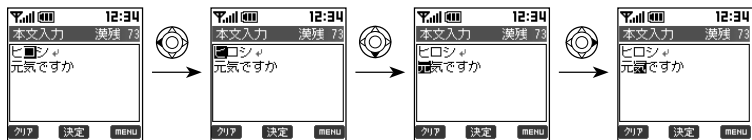
表示内容	表示の意味
機能キー機能表示	、、 に対応する機能が表示されます(「機能キーの操作について」☞27ページ)。
（キーロック表示）	キーロック中(☞108ページ)に表示されます。

キー操作の基本

本製品では、カーソルキー、センターキー、および機能キーを使って機能を呼び出し、設定や登録を行います。
ここでは、各キーの使いかたと、本書内でのキー表記について説明します。

カーソルを動かして選択／確定する（カーソルキー／センターキー）

本書内の表記	キーの操作	説明
または		項目を選択したり、文字入力中にカーソルを動かしたりするときに使用します。 を押し続けると画面をスクロールすることができます。
		選択されている項目の確定や、文字入力中の変換候補の確定に使用します。また、操作ガイド表示エリアの中央に表示されている機能を実行するときにも使用します（「機能キーの操作について」☞27ページ）。

■ 各種メニュー画面で項目を選択して決定する場合

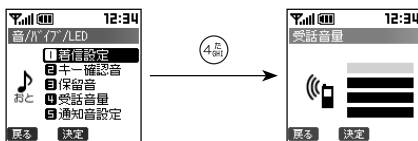
■ 文字の入力画面でカーソルを移動する場合

■ 文字の入力画面で変換候補を決定する場合

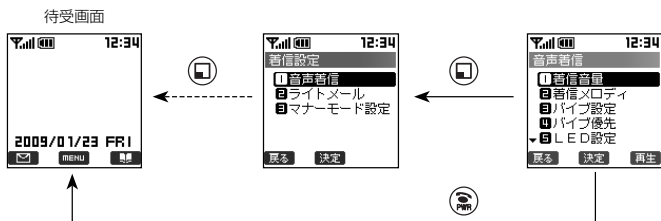
スクロールマークについて

項目が画面内に表示しきれない場合は、スクロールマークが表示され、で項目の続きを確認することができます。

数字キーを使って項目を選択する（ダイヤルキー）

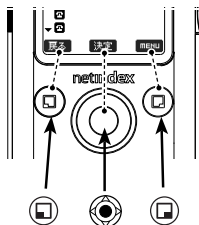
メニュー項目の左側に番号（0～9、*、#）が表示されているときは、（カーソルを合わせ◉で選択する以外に）対応するキーを押して選択／決定することができます。

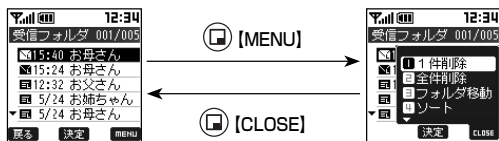
例：項目4「受話音量」を選択する場合

一つ前の画面に戻る／操作を中止する（左機能キー／電源・終話キー）

途中操作がわからなくなったときや間違えたときは、◱【戻る】（操作ガイド表示エリアに【戻る】が表示されている場合）を押して前の画面に戻ることができます。
また、PWR を押すと操作を中止して待受画面に戻ることができます。

機能キーの操作について

ディスプレイの操作ガイド表示エリアに表示されている機能を表示／実行するときは、表示位置に対応するキーを押します。

本書での表記	説明
◱	操作ガイド表示エリアの左側に表示された機能を実行します（右図では【戻る】で一つ前の画面に戻ります）。
◉	操作ガイド表示エリアの中央に表示された機能を表示します（右図では【決定】で項目を確定します）。
◲	操作ガイド表示エリアの右側に表示された機能を実行します（右図では【MENU】でメニューを表示します）。

つづく

メニューを使う

操作ガイド表示エリア右側に【MENU】が表示されているときに を押すと、メニューが表示されます。画面によって表示される内容が異なります。
メニュー項目が画面内に表示しきれない場合は、左側にスクロールマークを表示します（「スクロールマークについて」☞26ページ）。

主なキーの役割について

主なキーの役割と機能は以下のとおりです。キーを長く（約1秒以上）押すことで通常のキー操作と役割が変わるキーがあります。

本書での表記	待受中／着信中／通話中の役割	機能設定中の役割
	待受中： 短く押す：メインメニューの呼び出し **通話中：**メインメニューの呼び出し	操作ガイド表示エリア中央の表示機能の実行
	通話中：受話音量を大きく	カーソルを上に移動 音量を大きく
	待受中：スケジュールの呼び出し **着信中：**クイックサイレント **通話中：**受話音量を小さく	カーソルを下に移動 音量を小さく
	待受中／通話中：着信履歴表示	カーソルを左に移動
	待受中／通話中：発信履歴表示	カーソルを右に移動
	待受中： 短く押す：メールメニューの呼び出し 長く（約1秒以上）押す：留守録再生 **着信中：**留守電応答 **通話中：** 短く押す：保留／保留解除 長く（約1秒以上）押す：小声通話の設定／解除	操作ガイド表示エリア左側の表示機能の実行
	待受中： 短く押す：発着信電話番号設定の呼び出し 長く（約1秒以上）押す：アンテナサーチ起動 **通話中：** 長く（約1秒以上）押す：アンテナサーチ起動	操作ガイド表示エリア右側の表示機能の実行

本書での表記	待受中／着信中／通話中の役割	機能設定中の役割
［サイドキー］	**待受中：** 長く（約1秒以上）押す：キーロックの設定／解除	
［発信/文字キー］	**待受中：** 短く押す：発信 **着信中：**着信応答	発信（一部の機能） 文字の入力モードの切り替え
［PWRキー］	**待受中：** 短く押す：ディスプレイバックライトの点灯／消灯 長く（約1秒以上）押す：電源のOFF **着信中：** 長く（約1秒以上）押す：電源のOFF **通話中：** 短く押す：終話 長く（約1秒以上）押す：電源のOFF	短く押す：機能操作の中止 長く（約1秒以上）押す： 電源のOFF
［0］～［9］	**待受中：**電話番号の入力	項目番号の選択 数値／文字の入力
［＊］	**待受中：** 短く押す：電話番号の入力 長く（約1秒以上）押す：マナーモードの設定／解除 **着信中：** 長く（約1秒以上）押す：マナー着信の設定／解除	項目番号の選択 文字入力
［＃］	**待受中：** 短く押す：電話番号の入力 長く（約1秒以上）押す：安全運転モードの設定／解除	項目番号の選択 文字入力 改行の入力

ご使用前の準備

バッテリーについて

お買い上げ時、バッテリーは十分に充電されていません。初めてお使いになるときや長時間ご使用にならなかったときは、付属の充電用ケーブルおよびACアダプタで充電してからご使用ください。
※バッテリーの取り付けかたについては、「バッテリーの交換」(☞134ページ)をご参照ください。

充電時間とご利用可能時間

充電時間	約3時間	空のバッテリーを本製品の電源を切った状態でACアダプタを使用して充電したとき
連続待受時間	約490時間	電源を入れたまま、キー操作や通話を行わないで待受状態を続けられる時間
連続通話時間	約5.0時間	通話を続けられる時間

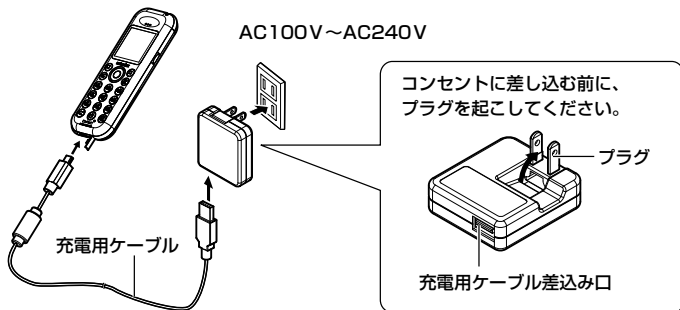
お願い

- パソコンのUSBポートから充電する場合は、パソコンの電流駆動能力に左右されるため、充電時間に変動が生じる可能性があります。
- 「連続待受時間」とは、十分に充電された新品のバッテリーを装着し、通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態で算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所(ビル内、カバンの中など)や圏外表示の状態では、ご利用時間が短くなることがあります。
- 実際のご利用可能時間は、発信、着信の回数によって異なり、実際に使用された通話時間や移動距離が長い場合には短くなります。また、圏外や電波が不安定な場所(ビル内、カバンの中、サービスエリア内外の移動など)での待受、移動距離、バッテリーの充電状態、機能の設定状態、気温などの使用環境により通話／待受時間は半分以下になる場合があります。
- ディスプレイの照明が点灯している状態でのご利用(発着信電話番号の操作／メール操作など)が多い場合、連続待受時間、連続通話時間が短くなります。
- キー操作を長時間繰り返し行うと、バッテリーの消耗が早くなり、連続待受時間、連続通話時間が短くなります。
- バッテリーを空の状態で放置しないでください。バッテリーが空の状態で放置されると、充電できなくなる場合があります。長時間使用しないときは、ときどき充電をして空の状態を避けてください。
- バッテリーには寿命があります。充電を繰り返すうちに利用可能時間は除々に短くなります。最初に比べて半分程度になってきたら交換時期です。新しいバッテリーをお買い求めください。なお、バッテリーの寿命は使用状態などにより異なります。
- 不要になったバッテリーは一般のゴミと一緒に捨てないでください。

環境保護のため、寿命がきたバッテリーは普通のゴミと一緒に捨てずに最寄りのウィルコムプラザ／ウィルコムカウンター、またはリサイクル協力店などにお持ちください。
充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：
有限責任中間法人JBRC
TEL：03-6403-5673
ホームページ：http://www.jbrc.com

充電する

お買い上げ時には、バッテリーは十分に充電されていません。初めてご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、必ず専用の充電用ケーブルで充電してからご使用ください。

■ ACアダプタで充電する

お願い

- 付属品以外のUSBケーブルを使用される場合は、USB1.1以上の認定品をご使用ください。それ以外のUSBケーブルの使用については、動作保証いたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 付属品以外のACアダプタの使用については、動作保証いたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 充電中、周囲の温度が高いかもしくは低いと保護機能がはたらき、充電できない場合があります。保護機能がはたらくと、バッテリー残量表示に「」が表示されたまま、表示ランプが消灯します。充電ケーブルを外し、周囲温度が5℃～35℃の場所にしばらく置いてから、再度充電してください。

お知らせ

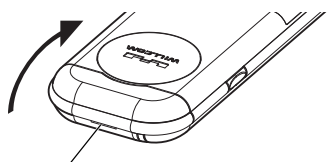
- 充電中、バッテリー残量表示は「」が表示され、表示ランプが赤色点灯します。
  充電完了後、消灯します。

つづく

W-SIMを取り付ける

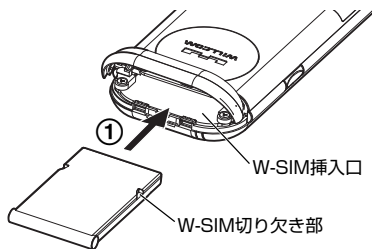
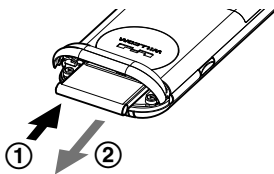
お願い

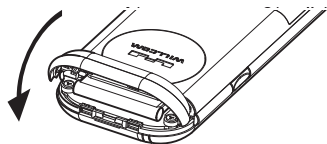
- お買い上げ時には、ダミーカードが差し込まれています。ダミーカードを取り外してからW-SIMを差し込んでください。取り外し方法については、下記をご参照ください。
- W-SIMを無理に差し込んだり引き抜いたりしないでください。本製品やW-SIMが破損するおそれがあります。
- W-SIM以外のカードを差し込むと、カードや本製品が破損するおそれがあります。

❶ W-SIMカバーを開ける

お知らせ

- W-SIMカバー爪掛け部へ軽く爪をかけることにより、W-SIMカバーを容易に開けることができます。

❷ W-SIMを「カチッ」と音がするまで差し込む

- W-SIM切り欠き部のある面を上にして①の方向に差し込んでください。

- 取り外すときは、W-SIMを①の方向に軽く押し込むと少し飛び出してきますので、②の方向にまっすぐに取り出してください。

- W-SIMを無理に引っ張らないでください。

❸ W-SIMカバーを閉じる

電源をON／OFFにする

電源をONにする

電源をONにしたらバッテリー残量や電波レベルを確認しましょう。

(PWR)を長く(約5秒以上)押す

電源ONのアニメーションが表示された後、待受画面が表示されます。

お知らせ

- 認証コード(PINコード)設定時(☞111ページ)は、認証コード(PINコード)入力画面になります。
  認証コード(PINコード)を入力すると、電源ONのアニメーションが表示されます。
- 認証コード(PINコード)入力画面で(PWR)または(□)を押すと、W-SIMが認識されません。W-SIMを取り付けていない状態と同じになります。

電源をOFFにする

(PWR)を長く(約1秒以上)押す

電源OFFのアニメーションが表示された後、電源が切れます。

つづく

時計を設定する　〈日時設定〉　機能番号43

待受画面などに表示される日付と時刻を設定します。アラームの設定や、着信履歴、発信履歴、メールの受信日時、送信日時などは、ここで設定した日付に従って動作または表示します。

お買い上げ時：「2009年1月1日 00：00」

日時設定
2009/01/23
12:34
戻る　確定

待受画面で

❶ 【MENU】➡ 4 3

❷ 西暦(下2桁)、月、日、時刻(24時制)を入力し、【確定】

❸ PWR

待受画面に戻ります。

お願い

- 以下のような場合、「日時設定」がお買い上げ時の設定に戻ることがあります。再度設定を行ってください。
  - 長時間お使いにならなかった場合
  - バッテリーを外していた場合
  - バッテリー残量が完全になくなってしまった場合
  - 「出荷時設定」(☞110ページ)を行った場合

お知らせ

- 入力できる日付は、2009年1月1日～2099年12月31日までです。

2 基本的な使いかた

電話をかける

発信先番号に登録した電話番号へ電話をかけます。(1) ～ (3) のダイヤルキーで簡単に電話をかけることができます。

待受画面で

❶ (1)(発信先番号1) ～ (3)(発信先番号3)を1回押す

発信先番号に登録した電話番号が表示されます。

❷ (文字) または (●)【発信】

❸ 通話が終わったら (PWR)

お願い

- 受話口から「ツーツー」と聞こえるときは以下のいずれかの状態です。
  - 電波が非常に弱い地域
    いったん電話を切り、電波状態のよいところへ移動してから再度かけ直してください。
  - 回線が混んでいる／相手が通話中
    いったん電話を切り、しばらくしてから再度かけ直してください。
- 通話時間の表示は目安です。

お知らせ

- 発信先番号の登録については、「発信先番号を登録する」(☞67ページ)をご覧ください。
- 発信先番号が登録されていないダイヤルキーを押した場合、電話番号は表示されません。
- ダイヤルキーを2回押すと、発信先番号に登録した電話番号の表示が消えて、ダイヤルがそのまま入力されます。
- 誤操作による発信を防止するため、手順❶の操作により発信先番号を表示した状態で、5秒以上操作が行われなければ自動的に待受中に戻ります。

電話番号を入力してかける

待受画面で

❶ **電話番号を入力し、(文字) または (◉)【発信】**

❷ **通話が終わったら (PWR)**

お願い

- 一般電話へかける場合には、必ず市外局番から入力してください。
- PHS／携帯電話へかける場合には、「0」から始まる11桁の電話番号を入力してください。

お知らせ

- 発信先番号に登録された電話番号、または110、119などの特別番号(☞146ページ)以外の電話番号を入力した場合、「発信できません」とメッセージが表示され、電話をかけることができません。
- 入力できる電話番号は32桁までです。
- 入力中は、以下の操作を行うことができます。
  - 入力を間違えたときは (◧)【クリア】を押します。(◧)【クリア】を押すごとに下1桁を削除します。また (◧)【クリア】を押し続けると、全桁削除します。
  - 途中の番号を間違えたときは (◎) でカーソルを移動させ、希望の位置に番号を追加したり、削除したりできます。
- 相手がPHS／携帯電話の電源を切っているときや、電波の届かない地域にいるときは、接続できないことを音声ガイダンスでお知らせします。
- 最初に (文字) を押してから電話番号を入力してかけることもできます。
- 特定のISDN端末へ電話をかけるには、以下の手順で行います。

  電話番号を入力 ➡ (＊) ➡ サブアドレス(ISDN独自の番号) ➡ (文字)

  入力できるダイヤル桁数(電話番号＋(＊)＋サブアドレスの桁数の合計)は32桁までです。
- 通話中にできることについて(☞43ページ)

つづく

電話番号入力時のメニューを使う

電話番号入力時のメニューから以下の操作を行い、
電話をかけることができます。

待受画面で

電話番号を入力 ➡ ◫【MENU】

以下の項目から選択します。

項目	説明
1 ライトメール作成	入力した電話番号を宛先としたライトメールを作成します（「メールを作成して送信する」☞81ページ）。
2 184設定（184解除）	入力した電話番号に184設定（自分の電話番号を通知しない）／解除します。
3 186設定（186解除）	入力した電話番号に186設定（自分の電話番号を通知する）／解除します。
4 分計設定（分計解除）	入力した電話番号に料金分計サービスを利用してかけます（「料金分計サービスについて」☞132ページ）。
5 ポーズ	ポーズ（P）を入力します。
6 コピー	入力した電話番号をコピーします。
7 ペースト	コピーした電話番号をカーソル位置にペースト（貼り付け）します。

最も強い電波を選択する（アンテナサーチ）

待受中または通話中に「アンテナサーチ」を起動すると、その時点で最も強い電波を選択し、
切り替えることができます。

待受画面／通話中に

◫ を長く（約1秒以上）押す

お知らせ

- 場所によっては電波状況が変わらないことがあります。

発信履歴から電話をかける（リダイヤル）

以前にかけた相手の電話番号は、発信履歴として20件まで記録されます。20件を超えると、古い履歴から自動的に削除されます。発信履歴から電話をかけることができます。

待受画面で

 ➡ **発信履歴を選択** ➡ （文字）

発信履歴画面

お知らせ

- 発信履歴の電話番号が、発信先番号に登録された電話番号、または110、119などの特別番号（☞146ページ）以外の場合、「発信できません」とメッセージが表示され、電話をかけることができません。
- 発信履歴の詳細（発信履歴詳細画面）を表示するには、以下の手順で行います。

  発信履歴画面で発信履歴を選択し、◉【決定】

  • 発信履歴の詳細画面

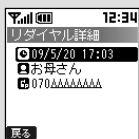
  ：発信日時

  ：名前（発信先番号に登録されているとき）

  ※：電話番号

  ※電話番号が発信先番号に登録されている場合、電話番号の種別のアイコンが表示されます。

発信履歴詳細画面

- 発信履歴詳細画面で電話番号を選択し、◉**【決定】**を押すと、**【MENU】**を押して電話番号入力時のメニュー（☞38ページ）が使えます。

発信履歴画面のメニューを使う

待受画面で

 ➡ **発信履歴を選択** ➡ **【MENU】**

以下の項目から選択します。

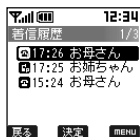
項目	操作・説明
1 **1件削除**	➡**「はい」を選択し、◉【決定】** 選択した履歴を削除します。
2 **全件削除**	➡**「はい」を選択し、◉【決定】** 履歴すべてを削除します。
3 **ライトメール作成**	選択した履歴の電話番号を宛先としたライトメールを作成します（「メールを作成して送信する」☞81ページ）。

つづく

着信履歴から電話をかける

かかってきた相手の電話番号は、着信履歴として20件まで記録されます。20件を超えると、古い履歴から自動的に削除されます。着信履歴から電話をかけることができます。

待受画面で

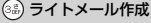
 ➡ **着信履歴を選択** ➡ (文字)

着信履歴画面

お知らせ

- 着信履歴の電話番号が、発着信電話番号に登録された電話番号、または110、119などの特別番号(☞146ページ)以外の場合、「発信できません」とメッセージが表示され、電話をかけることができません。
- 着信履歴画面に表示されるアイコンは、以下のとおりです。
  - ：着信通話(電話に出た場合)
  - ：不在着信(電話に出られなかった場合)
  - ：留守録あり〔留守電機能(☞47ページ)/安全運転モード(☞49ページ)で応答した場合〕
- 着信履歴の詳細(着信履歴詳細画面)を表示するには、以下の手順で行います。

  着信履歴画面で着信履歴を選択し、◉【決定】
  - 着信履歴詳細画面
    - ：着信日時
    - ：名前(着信番号に登録されているとき)
    - ：電話番号または非通知理由

着信履歴詳細画面

- 着信履歴詳細画面で電話番号を選択し、◉【決定】を押すと、◻【MENU】を押して電話番号入力時のメニュー(☞37ページ)が使えます。

着信履歴画面のメニューを使う

待受画面で

◎ 着信履歴を選択 ➡ ◎【MENU】

以下の項目から選択します。

① 1件削除	➡「はい」を選択し、◎【決定】 選択した履歴を削除します。
② 全件削除	➡「はい」を選択し、◎【決定】 履歴すべてを削除します。
③ ライトメール作成	選択した履歴の電話番号を宛先としたライトメールを作成します(「メールを作成して送信する」☞81ページ)。

自分の電話番号を相手に通知する 〈発信番号通知〉 機能番号63

電話をかけるとき、自分の電話番号を相手に通知するかどうかを設定できます。

お買い上げ時：「ON」

待受画面で

◎【MENU】➡ ⑥ ③

以下の項目から選択します。

① ON	電話をかけるとき、自分の電話番号を通知します。
② OFF	電話をかけるとき、自分の電話番号は通知されません。

電話を受ける

電話がかかってきたら

着信中に

（文字キー）を押す

電話を受けることができます。
エニーキーアンサーを設定している場合は、（0）～（9）でも電話を受けることができます。

お知らせ

- 発着信電話番号に登録されている電話番号以外の場合、電話を受けることはできません。
- 電話の着信は、すべての操作に優先して行われます。
- 着信中、発着信電話番号に登録された相手の名前が表示されます。
- 通話中や着信中にできることについて(☞43ページ)
- 発信者番号にサブアドレスが含まれている場合は、電話番号の上の行にサブアドレスが表示されます。
- 電話に出られなかったときは「不在着信あり」と表示され、お知らせします。
  【MENU】または（方向キー）を押すと着信履歴画面を表示します。

エニーキーアンサーを設定／解除する 〈エニーキーアンサー〉 機能番号62

電話がかかってきたとき、（文字キー）、（0）～（9）のいずれかのキーを押して電話を受けることができます。
エニーキーアンサーを解除すると、（文字キー）のみで電話を受けるようにすることができます。

お買い上げ時：「OFF」

待受画面で

【MENU】➡（6）（2）

以下の項目から選択します。

（1）ON	エニーキーアンサーを設定します。
（2）OFF	エニーキーアンサーを解除します。

通話中や着信中にできること

通話中に受話音量を調節する

通話中に相手の声の大きさを「音量レベル1」(最小)〜「音量レベル4」(最大)の4段階に調節します。

お買い上げ時：
「音量レベル3」

通話中に

で音量を調節する

小さな声で話せるようにする(小声通話)

公共の場所や静かな場所で、周囲に迷惑をかけないように小さな声で話せるように設定します。小声通話中は小さな声でお話ししても、相手には通常の声の大きさで伝わります。

お買い上げ時：
「OFF」

通話中に

を長く(約1秒以上)押す

もう一度 を長く(約1秒以上)押すと小声通話は解除されます。

通話中 08分22秒
保留 MENU

お知らせ

- 小声通話中は、画面に「」が表示されます。
- 小声通話は電話を切ると解除されます。
- あらかじめ小声通話を設定しておくこともできます(☞124ページ)。

通話中に保留する

通話中に相手に待っていただきます。保留中は相手に保留音が流れ、お互いに相手の声が聞こえません。

通話中に

① 【保留】を押す

通話を保留します。

② 通話できる状態になったら ➡ 【戻る】を押す

相手と通話ができます。

お知らせ

- 保留音は変更できます(☞101ページ)。

つづく

かかってきた電話を留守応答する

着信中の電話に出られないときは、着信中にキー操作を行うことで、一時的に留守電機能(☞47ページ)で設定している応答メッセージで自動応答し、相手のメッセージを録音できます。

着信中に

【 】を押す

お知らせ

- 上記の操作を行っても、留守電設定の状態は変わりません。
- 録音ができない場合は、「ただいま電話に出ることができません。のちほどおかけ直しください。」というメッセージを再生し、電話を切ります。

着信中に着信音を一時的に切る(クイックサイレント)

着信中、鳴っている着信音を停止させることができます。

着信中に

を押す

着信中に着信音をバイブレータに切り替える(マナー着信)

着信中、鳴っている着信音を停止させてバイブレータの振動に変えることができます。

着信中に

を長く(約1秒以上)押す

マナーモードが設定され、バイブレータ(パターン1)に切り替わります。

お願い

- 上記の操作後はマナーモードが設定されます(☞51ページ)。マナーモードを解除するときは を長く(約1秒以上)押してください。

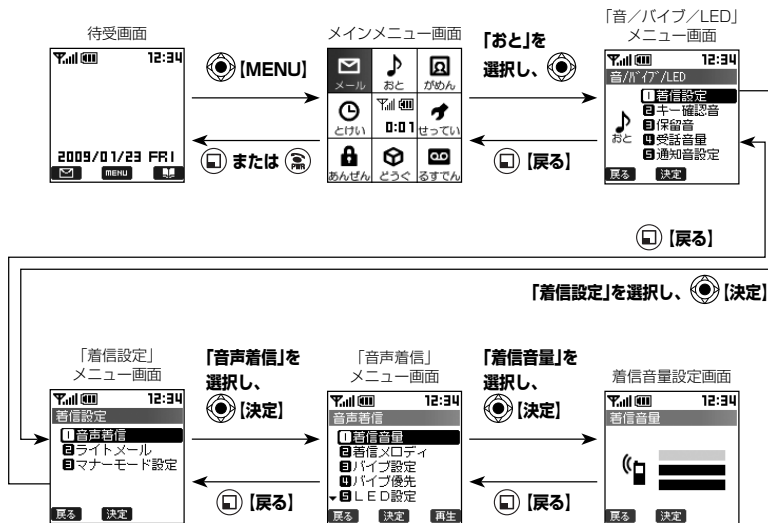
メインメニューから機能を呼び出す

機能の設定や確認はメインメニューから行います。

項目を選んで機能を呼び出す

待受画面で

例：機能番号2111　着信音量(音声着信)

「着信設定」を選択し、【決定】

お知らせ

- ● を押すと、待受画面に戻ります。

機能番号を入力して機能を呼び出す

メインメニューで、機能番号をダイヤルキーで入力して呼び出します。機能番号を覚えておくと、すばやく呼び出すことができます。各機能番号とその機能名については、「機能一覧」(☞139ページ)をご参照ください。

待受画面で

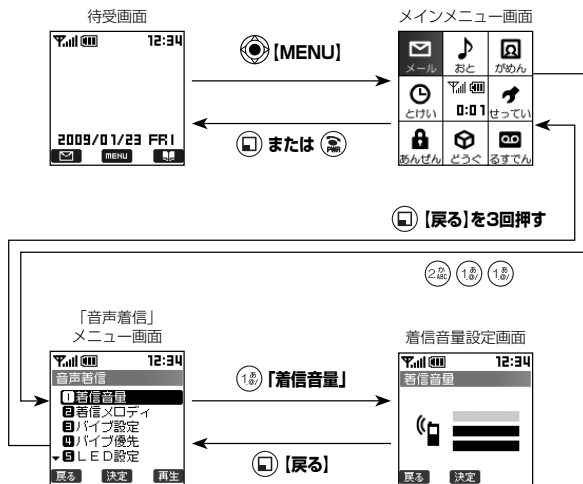
例：機能番号2111　着信音量(音声着信)

お知らせ

● (PWR) を押すと、待受画面に戻ります。

2

基本的な使いかた

留守電機能を使う 〈留守電機能〉 機能番号92

電話に出られないときに相手の用件を録音する(留守電設定)

伝言録音中画面

電話に出られないとき、着信後約30秒後に自動的に応答メッセージを流して相手の伝言を録音します。応答メッセージは自分で録音するメッセージと固定メッセージから選択できます。
録音件数は、留守電と安全運転モード時に録音した相手のメッセージ(☞49ページ)と合わせて、4件まで録音できます。録音時間は4件合わせて約60秒までです。

お知らせ

- 1件の録音時間が長い場合、録音できる件数は少なくなります。
- ウィルコムで提供している留守番電話サービス(「留守番電話サービスについて」☞130ページ)とは異なります。
- 本製品の留守電機能と、留守番電話サービスの両方を利用されているときは、本製品の留守応答時間(約30秒)と留守番電話センター呼び出し時間で、短く設定されている方が優先されます。留守番電話センターの呼び出し回数を変更するには「留守番電話サービスの設定を変更する」(☞131ページ)をご参照ください。

留守電を設定/解除する 〈留守電設定〉 機能番号921

待受画面で

お買い上げ時:「OFF」

【MENU】➡ 9 2 1

12:34
留守電設定
1 ON
2 OFF
戻る 決定

以下の項目から選択します。

1 ON	1 固定	着信約30秒後に「ただいま電話に出ることができません。発信音のあとにお名前とご用件をお話しください。」と固定メッセージで応答し、録音が始まります。
	2 録音データ	自分で録音したメッセージで応答し、録音が始まります。(「応答メッセージを録音/再生/消去する」☞48ページ)
	【再生】を押すと、応答メッセージが再生され確認できます。	
2 OFF	留守電機能ははたらきません。	

お知らせ

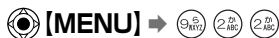
- 録音中に録音時間がなくなったときは、録音を終了し、電話を切ります。
- 録音件数が、留守電・安全運転モード時に録音した相手のメッセージ(☞49ページ)と合わせて、すでに4件または60秒録音されている場合は、「ただいま電話に出ることができません。のちほどおかけ直しください。」の応答メッセージを再生し、録音を行わずに電話を切ります。
- 留守電を設定すると、待受画面に「[留守電アイコン]」が表示されます。
- 留守録音動作中(応答メッセージ再生中や録音中)に、[通話キー] を押すと、留守録音動作を中断し、通話をすることができます。中断までの内容は録音されています。

つづく

応答メッセージを録音／再生／消去する 〈応答トーキ設定〉 機能番号922

留守電の応答メッセージを録音します。
応答メッセージは1件、約10秒まで録音できます。

待受画面で

【MENU】 ➡ 9 2 2

以下の項目から選択します。

1 録音	➡ 【OK】 ➡ 録音開始 ➡ 約10秒経過または 【OK】で録音終了 ➡ 「はい」を選択し、 【決定】
2 再生	応答したメッセージを再生します。
3 消去	➡ 「はい」を選択し、 【決定】 録音した応答メッセージを消去します。

2

基本的な使いかた

留守録を再生／消去する

留守録と安全運転モード中に録音された内容を聞くことができます。
留守録が録音されているときは、待受画面に「 1」(数字は録音件数)が表示されます。

再生する 〈留守録再生〉 機能番号923

待受画面で

【MENU】 ➡ 9 2 3 ➡

再生したい留守録を選択し、 【決定】

録音されたメッセージが再生されます。

お知らせ

- 待受画面で を長く(約1秒以上)押しても、留守録を選択して再生することができます。
- 再生中に 【OK】 を押すと、再生が終了します。

消去する

待受画面で

◉【MENU】➡ 9 2 3 ➡ 消去したい留守録を選択 ➡ ◙【MENU】

以下の項目から選択します。

1 1件消去	➡「はい」を選択し、◉【決定】 選択した留守録を消去します。
2 全件消去	➡「はい」を選択し、◉【決定】 すべての留守録を消去します。

お知らせ

- 待受画面で ◙ を長く(約1秒以上)押しても、留守録を選択して消去することができます。

安全運転モードを設定する

運転中に電話がかかってきたとき、運転の妨げにならないように、着信音やバイブレータを「OFF」に切り替えることができます。このとき相手には、運転中のため通話ができないことをお知らせし、メッセージを録音してもらうことができます。録音件数は、安全運転モードの時の相手のメッセージ・留守録(☞47ページ)と合わせて4件まで録音できます。メッセージの再生／消去方法は「留守録を再生／消去する」(☞48ページ)をご参照ください。

待受画面で

 # を長く(約1秒以上)押す

お願い

- 安全運転モードと留守電の両方が設定されている場合、安全運転モードが優先されます。
- 安全運転モード設定中の着信は、 を押しても通話できません。

お知らせ

- 安全運転モードに設定すると、待受画面に「 」が表示されます。
- 安全運転モードに設定すると、お買い上げ時は、相手には以下のようなメッセージでお知らせします。

伝言の録音ができるとき	「ただいま運転中です。発信音のあとにお名前とご用件をお話しください。」
伝言の録音ができないとき	「ただいま運転中です。のちほどおかけ直しください。」

- 安全運転モード設定中でも、通常どおり電話をかけることができます。

応答先と応答方法を切り替える 〈安全運転モード〉 機能番号93

安全運転モード設定中の応答先と応答方法を切り替えることができます。
サービスの詳細については、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

お買い上げ時：
「電話機録音する」

待受画面で

【MENU】➡ 9 3

以下の項目から選択します。

1 **電話機録音する**	本製品が「ただいま運転中です。発信音のあとにお名前とご用件をお話しください。」と応答し、相手のメッセージが録音できます。録音件数は留守録と合わせて4件までです。録音時間は4件合わせて約60秒までです。
2 **電話機応答のみ**	本製品が「ただいま運転中です。のちほどおかけ直しください。」と応答し、電話を切ります。相手のメッセージは録音できません。
3 **ネットワーク録音する**	ウィルコムの留守番電話センターが「ただいま運転中のため、留守番電話センターでメッセージをお預かりいたします。発信音のあとに、60秒以内でメッセージを録音してください。」と応答し、相手のメッセージが録音できます（ウィルコムの留守番電話サービスへのお申し込みが必要です☞130ページ）。
4 **ネットワーク応答のみ**	ウィルコムの安全運転モードで応答し、「ただいま運転中のため、電話に出ることができません。しばらく経ってからおかけ直しください。」のメッセージのあと電話を切ります。相手のメッセージは録音できません。

お願い

- ウィルコムの留守番電話サービスをご契約されていない場合は、「電話機録音する」、「電話機応答のみ」または「ネットワーク応答のみ」を選択してください。

お知らせ

- 「電話機録音する」に設定している場合、1件の録音時間が長いと、録音できる件数は少なくなります。
- 「ネットワーク録音する」に設定したときの録音メッセージの再生方法については、「メッセージを聞く」(☞131ページ)をご参照ください。

安全運転モードを解除する

待受画面で

安全運転モード設定中に # を長く(約1秒以上)押す

お知らせ

- 安全運転モードを解除すると、着信音やバイブレータは元の設定に戻ります。

マナーモードを設定する

公共の場所で着信音やキー確認音などスピーカーから音を鳴らさないようにしたいときは、マナーモードを設定してください。

待受画面／着信中に

⊛ を長く(約1秒以上)押す

お知らせ

- マナーモードに設定すると、待受画面に「」が表示されます。

マナーモードを解除する

待受画面／着信中に

マナーモード設定中に ⊛ を長く(約1秒以上)押す

お知らせ

- マナーモードを解除すると、着信音やバイブレータは元の設定に戻ります。

マナーモード中のバイブレータ／LEDの設定をする 〈マナーモード設定〉 機能番号213

マナーモード中に着信を知らせるバイブレータのON／OFF、LED(表示ランプ／機能キー)の点滅パターンを設定できます。点滅パターンは「OFF」、「パターン1」～「パターン3」に設定できます。

待受画面で

◎【MENU】➡ 2 1 3

以下の項目から選択します。

1 バイブON／OFF設定	マナーモード中に着信を知らせるバイブレータを振動させるかどうかを設定します(「マナーモード中のバイブレータを設定する」☞52ページ)。
2 LED設定	マナーモード中に着信を知らせるLED(表示ランプ、機能キー)の点滅パターンを設定します(「LEDの点滅パターンを設定する」☞52ページ)。

マナーモード中のバイブレータを設定する 〈バイブON/OFF設定〉 機能番号2131

マナーモード中に着信を知らせるバイブレータを振動させるかどうかを設定できます。
ONに設定した場合はパターン１のバイブレータでお知らせします。

マナーモード設定画面で

お買い上げ時：「ON」

(1) 「バイブON/OFF設定」

以下の項目から選択します。

(1) ON	マナーモード中の着信時、バイブレータが振動します。
(2) OFF	マナーモード中の着信時、バイブレータが振動しません。

LEDの点滅パターンを設定する 〈LED設定〉 機能番号2132

マナーモード中に着信を知らせるLED（表示ランプ、機能キー）の点滅パターンを設定できます。
点滅パターンは「OFF」、「パターン1」～「パターン3」に設定できます。

マナーモード設定画面で

お買い上げ時：「OFF」

(2) 「LED設定」➡ (1) 「パターン1」～ (3) 「パターン3」、または (4) 「OFF」

お知らせ

- 点滅パターンを確認したいときは、(◎)で「パターン1」～「パターン3」を選択すると、選択したパターンでLEDが点滅します。
  - 点滅中のパターンに設定するとき：(◉)【決定】を押す
  - 設定せずに戻るとき：(□)【戻る】を押す

2 基本的な使いかた

3 文字の入力と設定

文字を入力する

文字入力モードの切り替え

漢字・ひらがな、英字、数字など、入力する文字によって入力モードを切り替えます。

例：ライトメール(☞81ページ)の本文入力画面

待受画面で

【MENU】➡ 1 1 ➡ で本文入力欄を選択し、【決定】

文字入力画面で

を押す

入力モード一覧が表示されます。

または を押して入力モードを選択し、**【決定】**を押すと入力モードを切り替えることができます。

漢	漢字・ひらがなモード
ア	全角カナ文字モード
ｱ	半角カナ文字モード
ａ	全角英文字モード
a	半角英文字モード
1	半角数字モード

入力モード表示

12:34
本文入力 漢 90
漢 ア ｱ ａ a 1
戻る 決定

入力モード一覧

お知らせ

- 着信番号の確認画面(☞74ページ)での読みカナ検索では、 を押すごとに入力モードは下記のように切り替わります。

  → ｱ（半角カナ文字モード）→ a（半角英文字モード）→ 1（半角数字モード）→ 記（記号モード）

各キーに割り当てられた文字について

各キーに割り当てられている文字は以下のとおりです。

キー	入力モード			
	漢字・ひらがなモード（全角）	英文字モード（全角／半角）	数字モード（全角／半角）	カタカナモード（全角／半角）
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	. @ ／ ： _ ‘ “ ＾ 〜※1 1	1	アイウエオァィゥェォ
2	かきくけこ	a b c A B C 2	2	カキクケコ
3	さしすせそ	d e f D E F 3	3	サシスセソ
4	たちつてとっ	g h i G H I 4	4	タチツテトッ
5	なにぬねの	j k l J K L 5	5	ナニヌネノ
6	はひふへほ	m n o M N O 6	6	ハヒフヘホ
7	まみむめも	p q r s P Q R S 7	7	マミムメモ
8	やゆよゃゅょ	t u v T U V 8	8	ヤユヨャュョ
9	らりるれろ	w x y z W X Y Z 9	9	ラリルレロ
0	わをん □（スペース）ー（音引） 、。・！？	，．￥□（スペース）－ ：；＆！？0	0	ワヲン □（スペース）ー 、。・！？
*	゛（濁点）゜（半濁点）	（無効）	＊	゛（濁点）゜（半濁点）
#	逆順表示 ↵（改行）※2		＃	逆順表示 ↵（改行）※2

※1　全角では「〜」、半角では「˜」が入力されます。
※2　メール本文入力時またはメモ入力時のみ

お知らせ

- 同じキーに割り当てられた文字を続けて入力するときは、最初の文字の入力後、◎でカーソルを右へ移動させて次の文字を入力してください。
- ＊ で濁音に変換可能な文字は、「か行」「さ行」「は行」「た行」とカタカナ入力時の「ウ」となります。また、半濁音に変換可能な文字は、「は行」のみとなります。他は変換できません。
- ＃ を押すと逆の順序で文字が表示されます。
例：「ぉ」を入力する場合は、1 ➡ ＃ で入力できます。

ひらがなを入力する

ダイヤルキーを繰り返し押して、入力したい文字を表示します。
例：「きのう」を入力

漢字・ひらがなモードで

2 を2回「き」➡ 5 を5回「の」➡ 1 を3回「う」➡

【決定】

お知らせ

- 10文字まで続けて入力できます。
- 文字を削除するには、「文字を削除する」（☞56ページ）を参照してください。

つづく

濁点／半濁点を入力する

文字を入力した後、㊟で濁点／半濁点が付いた文字に変換します。

例：「ぽ」を入力

漢字・ひらがなモードで

6 を5回「ほ」➡ ＊ を2回「ぽ」➡ ◉【決定】

お知らせ

- 濁点／半濁点を付けられる文字のみ有効です。

小文字のひらがなを入力する

ダイヤルキーを繰り返し押して、入力したい文字を表示します。

例：「ょ」を入力

漢字・ひらがなモードで

8 を6回「ょ」➡ ◉【決定】

英字を入力する

例：半角文字で「SHOP」と入力する

半角英文字モードで

7 を8回「S」➡ 4 を5回「H」➡ 6 を6回「O」➡ 7 を5回「P」

数字を入力する

例：半角文字で「5」を入力

半角数字モードで

5 を1回「5」

文字を削除する

【クリア】を使って入力した文字を削除できます。

文字入力画面で

◎を押して削除したい文字にカーソルを合わせる ➡【クリア】

【クリア】を長く（約1秒以上）押すと、カーソル以降の文字をすべて削除できます。

漢字やカタカナに変換する

ひらがなを入力した後、予測変換候補が表示されます。変換候補の中から◎を押して入力したい漢字を選択します。

予測変換で入力する

過去に一度変換した単語は、すべての文字を入力しなくても予測して変換できます。

例：「とうきょう」を「東京」と変換した後（「文字を変換して入力する」☞下記）、再度同様に変換するとき

漢字・ひらがなモードで

お知らせ

- 変換時の候補は、過去により多く変換した単語の順に表示されます。
- 変換時の候補は、過去に文節に区切らずに変換した単語も文節に区切って表示します。
  例：初めに「あかいかさを」と入力し、「赤い傘を」と変換した場合
  「あ」→「赤い」、「か」→「傘を」を候補として表示します。
- 予測変換で学習した情報はリセットをすることができます（「学習辞書をリセットする」☞64ページ）。

文字を変換して入力する

予測変換で変換候補に変換したい漢字が表示されないときやカタカナを入力したいときは、文字を変換して入力できます。

例：「東京タワー」を入力

漢字・ひらがなモードで

1 **4 を5回「と」➡ 1 を3回「う」➡ 2 を2回「き」➡ 8 を6回「ょ」➡ 1 を3回「う」➡ 【変換】➡ で「東京」を選択し、【決定】**

2 **4 を1回「た」➡ 0 を1回「わ」➡ でカーソル移動 ➡ 0 を5回「ー」➡ 【変換】➡ で「タワー」を選択し、【決定】**

3

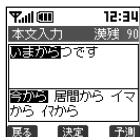
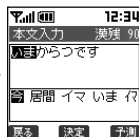
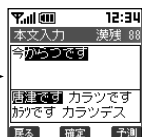
文字の入力と設定

つづく

文節を区切り直す

一度にたくさんの文字(10文字まで)を入力し、あとから文節に区切って漢字に変換できます。また、正しく漢字に変換できないときは、文節を区切り直して変換することもできます。

例：「いまからつです」を「今唐津です」と変換する

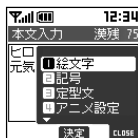
漢字・ひらがなモードで

文字入力メニューを使う

文字入力画面で

ⓘ【MENU】を押す

以下の項目から選択します。

文字入力画面のメニュー

絵文字	メールの本文に絵文字を入力します(☞60ページ)。
記号	記号を挿入します(☞60ページ)。
定型文	定型文を選択します(☞61ページ)。
アニメ設定 (アニメ解除)	メール本文の文頭に選択したアニメを設定/解除します(☞82ページ)。
フレーム設定 (フレーム解除)	メール本文に選択したフレームを設定/解除します(☞82ページ)。
メール履歴引用	受信や送信したメールから電話番号を呼び出して入力します(☞62ページ)。
プロフィール引用	自分のプロフィールを呼び出して入力します(☞62ページ)。
コピー	文字をコピーします(☞61ページ)。
カット	文字をカットします(☞61ページ)。
ペースト	コピーした文字を貼り付けます(☞62ページ)。

● 利用中の機能によって、メニュー画面に表示される項目および順番は異なります。

絵文字を入力する

メールの本文に絵文字を入力することができます（「絵文字一覧」☞144ページ）。

（「絵文字一覧」☞144ページ）

メール本文入力画面で

絵文字を入力したい位置にカーソルを合わせ、

【MENU】➡「絵文字」を選択し、【決定】➡

で入力したい絵文字を選択し、【確定】

【戻る】を押すと、入力画面に戻ります。

お知らせ

- 異なる機種の電話機に絵文字を送信した場合、一部の絵文字が正しく表示されないことがあります。
- 絵文字は全角のみです。

記号を入力する

半角記号または全角記号を入力することができます（「記号一覧」☞143ページ）。

半角記号を入力したい画面で

半角記号を入力したい位置にカーソルを合わせ、

【MENU】➡「記号」を選択し、【決定】➡

【MENU】➡ 1「半角記号」➡

で入力したい記号を選択し、【確定】

【戻る】を押すと、入力画面に戻ります。

全角記号を入力したい画面で

全角記号を入力したい位置にカーソルを合わせ、

【MENU】➡「記号」を選択し、【決定】➡

【MENU】➡ 2「全角記号」➡

で入力したい記号を選択し、【確定】

【戻る】を押すと、入力画面に戻ります。

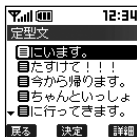
3 文字の入力と設定

定型文を入力する

あらかじめ登録されている定型文を呼び出し、入力できます。定型文は自分で入力し変更することもできます(☞62ページ)。

文字入力画面で

定型文を入力したい位置にカーソルを合わせ、【MENU】➡「定型文」を選択し、【決定】➡入力したい定型文を選択し、【決定】

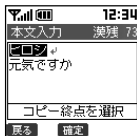
カーソル位置に定型文が入力されます。

文字をコピー／ペースト(貼り付け)する

入力した文字をコピー(複写)できます。またコピーした文字を別の画面にペースト(貼り付け)することができます。

コピーする

文字入力画面で

コピーする最初の文字にカーソルを合わせ、【MENU】➡「コピー」を選択し、【決定】➡ でコピーしたい範囲の終点を選択し、

【確定】

お知らせ

- コピーした文字列は、電源をOFFにすると消去されます。
- コピーは1件のみできます。

カット(切り取り)する

入力した文字をカット(切り取り)できます。

文字入力画面で

カットする最初の文字にカーソルを合わせ、【MENU】➡「カット」を選択し、【決定】➡ でカットしたい範囲の終点を選択し、【確定】

ペースト(貼り付け)する

前回コピーした文字を貼り付けることができます。

文字入力画面で

貼り付けたい位置にカーソルを合わせ、【MENU】➡「ペースト」を選択し、【決定】

お知らせ

- 画面によって使用できない文字が含まれている場合は、ペーストできません。

各機能からデータを引用する

以下の内容を引用して電話番号を入力することができます。
- プロフィールに登録されている自分の名前や電話番号
- 受信や送信したメールの電話番号

文字入力画面で

貼り付けたい位置にカーソルを合わせ、【MENU】➡「メール履歴引用」または「プロフィール引用」を選択し、【決定】➡ 引用したい項目を選択し、【決定】

定型文を編集する 〈定型文〉 機能番号151

登録されている定型文(「定型文一覧」☞142ページ)をお好みに合わせて書き換えることができます。

待受画面で

【MENU】➡ 1 5 1 ➡ 編集したい定型文を選択し、【決定】➡ 定型文を編集 ➡ 【決定】

お知らせ

- 入力できる文字は全角61文字、半角123文字までです。

変更した定型文をリセットし、お買い上げ時の状態に戻します。

待受画面で

【MENU】➡ 1 5 1 ➡ リセットしたい定型文を選択 ➡ 【MENU】

以下の項目から選択します。

1 1件リセット	➡「はい」を選択し、◉【決定】 選択した定型文をお買い上げ時の状態に戻します。
2 全件リセット	➡ 本製品の暗証番号を入力 ➡「はい」を選択し、◉【決定】 定型文をすべてお買い上げ時の状態に戻します。

よく使う単語を登録する 〈ユーザ辞書〉 機能番号65

よく使う文字や記号などを短い読みで変換できるよう、辞書に単語を100件まで登録できます。
単語は全角10文字、半角20文字まで、読みは10文字まで登録できます。
登録できる文字は以下のとおりです。読みはひらがなで登録します。

• 漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号

ユーザ辞書に単語を登録／編集する 〈辞書登録〉 機能番号651

待受画面で

◉【MENU】➡ 6 5 1 ➡［未登録］または編集したい単語を選択し、◉【決定】➡ 読みを入力／編集 ➡ ◉【決定】➡ 単語を入力／編集 ➡ ◉【決定】➡ 品詞※を選択し、◉【決定】

お買い上げ時：「未登録」

辞書登録一覧画面

※以下の品詞から選択します。

1 名詞	6 名
2 固有名詞	7 地名
3 人名&地名	8 企業
4 人名	9 郵便番号
5 姓	0 電話番号

ユーザ辞書に登録した単語を削除する

待受画面で

◉【MENU】➡ 6 5 1 ➡ 削除したい単語を選択 ➡ ◻【MENU】

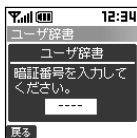
以下の項目から選択します。

1 1件削除	➡「はい」を選択し、◉【決定】 選択した単語を削除します。
2 全件削除	➡ 本製品の暗証番号を入力 ➡「はい」を選択し、◉【決定】 登録した単語をすべて削除します。

学習辞書をリセットする　〈学習辞書リセット〉　機能番号652

文字変換の学習情報や予測変換の情報をすべてリセットし、お買い上げ時の状態に戻します。

待受画面で

【MENU】 ➡ 6 5 2 ➡ 本製品の暗証番号を入力 ➡ 「はい」を選択し、【決定】

お知らせ

- 本製品の暗証番号を変更する(☞109ページ)。

4 安心設定の使いかた

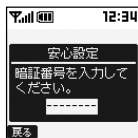
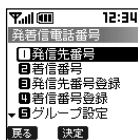
安心設定について

本製品は安心設定を行うことにより、発信先と着信ができる電話番号を制限することができます。
本製品から発信ができる発信先の電話番号は、発信先番号登録で行います。
本製品が着信できる電話番号は、着信番号登録で行います。
本製品が着信できる電話番号は、発信先番号に登録された電話番号および、着信番号に登録された電話番号、110や119などの特別番号(☞146ページ)となります。

発着信電話番号メニューを開く

発着信電話番号メニューを開くには、安心設定の暗証番号を入力する必要があります。

待受画面で

【 】➡ 安心設定の暗証番号を入力(お買い上げ時：「00000000」)➡ 【決定】

発着信電話番号メニュー画面

お願い

- 安心設定の暗証番号を変更することができます。お買い上げ時の設定から、お好みの番号に変更することをおすすめします(「安心設定の暗証番号を変更する」☞108ページ)。

4 安心設定の使いかた

発信先番号を登録する

発信先番号は、3件まで登録することができます。

発信先番号の各項目を登録する

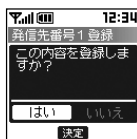
発着信電話番号メニュー画面で

発信先番号登録画面

❶ 3「発信先番号登録」➡ 各項目を選択

以下の項目から選択します。

（名前入力）	➡ 【確定】➡ 名前を入力 ➡ 【決定】 名前を登録します（☞下記）。
（読みカナ入力）	名前を入力すると、その読みが24文字まで自動的に入力されます。 **修正するときは、【確定】➡ 読みを修正 ➡ 【決定】** 名前を検索するときは、ここで登録した読み順で表示されます。 読みに入力できる文字数は半角24文字までです。
（電話番号）	➡ 【確定】➡ 電話番号を入力 ➡ 【確定】➡ **電話番号の種別を選択し、【確定】** 電話番号と種別を登録します（☞68ページ）。

❷ 各項目の入力または選択後、【登録】➡ 「はい」を選択し、【決定】

お知らせ

- 発信先番号の登録中・編集中に着信などによって登録が中断した場合は、登録内容は破棄され保存されません。
- 発信先番号の登録や編集を中断すると、「編集内容を放棄してもよろしいですか？」と表示されます。「はい」を選択し、【決定】を押すと作成中のデータは破棄され待受画面に戻ります。
- 「名前」「読みカナ」が入力されていないと、発信先番号に登録できません。

名前を入力する

相手の名前を入力します。

発信先番号登録画面で

「（名前入力）」を選択し、【確定】➡ 名前を入力 ➡ 【決定】

お知らせ

- 入力できる文字数は全角32文字、半角64文字までです。

電話番号を入力する

発信先番号登録画面で

❶「(電話番号)」を選択、【確定】➡ 電話番号を入力 ➡ 【確定】

電話番号1

戻る 確定 MENU

❷ 電話番号の種別を選択し、【確定】

選択できる種別は以下のとおりです。

PHS	FAX	会社
携帯	自宅	その他

お願い

- 相手が一般電話の場合は、必ず市外局番から入力してください。PHS／携帯電話の場合は必ず「0」から始まる11桁の番号を入力してください。

お知らせ

- 入力できる電話番号は32桁までです（「184」「186」も桁数に含まれます）。
- 電話番号入力中、【MENU】を押すと、電話番号入力時のメニューが使えます（☞38ページ）。（使えないメニューの項目は選択できません）
- 電話番号入力画面で、番号を入力する前に を押すと、発信履歴から電話番号が入力できます。また を押すと、着信履歴から電話番号が入力できます。

着信番号を登録する

着信番号は、700件まで登録することができます。

着信番号の各項目を登録する

発着信電話番号メニュー画面で

着信番号登録画面

❶ (4)「着信番号登録」➡ 各項目を選択

以下の項目から選択します。

項目	操作・説明
(名前入力)	➡ ◎【確定】➡ 名前を入力 ➡ ◎【決定】 名前を登録します(☞70ページ)。
(読みカナ入力)	名前を入力すると、その読みが24文字まで自動的に入力されます。 **修正するときは、◎【確定】➡ 読みを修正 ➡ ◎【決定】** 名前を検索するときは、ここで登録した読み順で表示されます。 読みに入力できる文字数は半角24文字までです。
(電話番号1)	➡ ◎【確定】➡ 電話番号を入力 ➡ ◎【確定】➡ 電話番号の種別を選択し、◎【確定】 電話番号と種別を登録します(☞70ページ)。
(電話番号2)	
(電話番号3)	
(メールアドレス1)	➡ ◎【確定】➡ Eメールアドレスを入力 ➡ ◎【決定】 Eメールアドレスを登録します(☞71ページ)。
(メールアドレス2)	
(メールアドレス3)	
(グループ設定)	➡ ◎【確定】➡ (1)～(9) でグループを選択または (0)「グループなし」 登録するグループを設定します(☞71ページ)。 家族や友人などのグループに分類して登録しておくと、電話をかけるときに簡単に探し出せます。
(メモリ番号入力)	登録されていない一番小さいメモリ番号が自動的に入力されています。 **異なる番号に登録するときは、◎【確定】➡ メモリ番号を入力 ➡ ◎【決定】** メモリ番号は着信番号1件ごとの番号です。No.000～No.699に登録します(☞71ページ)。
(メモ入力)	➡ ◎【確定】➡ メモを入力 ➡ ◎【決定】 メモを登録します(☞72ページ)。

❷ 各項目の入力または選択後、(□)【登録】➡ 「はい」を選択し、◎【決定】

お知らせ

- 着信番号の登録中・編集中に着信などによって登録が中断した場合は、登録内容は破棄され保存されません。
- 着信番号の登録や編集を中断すると、「編集内容を放棄してもよろしいですか？」と表示されます。
  「はい」を選択し、◉【決定】を押すと作成中のデータは破棄され待受画面に戻ります。
- 「名前」、「読みカナ」が入力されていないと、着信番号に登録できません。

名前を入力する

相手の名前を入力します。

着信番号登録画面で

「(名前入力)」を選択し、◉【確定】➡ 名前を入力 ➡

◉【決定】

名前入力　漢残 64
戻る　決定　MENU

お知らせ

- 入力できる文字数は全角32文字、半角64文字までです。

電話番号を入力する

着信番号登録画面で

❶「(電話番号1～3)」を選択、◉【確定】➡ 電話番号を入力 ➡ ◉【確定】

❷ 電話番号の種別を選択し、◉【確定】

選択できる種別は以下のとおりです。

PHS	FAX	会社
携帯	自宅	その他

お願い

- 相手が一般電話の場合は、必ず市外局番から入力してください。PHS／携帯電話の場合は必ず「0」から始まる11桁の番号を入力してください。

お知らせ

- 入力できる電話番号は32桁までです（「184」「186」も桁数に含まれます）。
- 電話番号入力中、【MENU】を押すと、電話番号入力時のメニューが使えます（☞38ページ）。
  （使えないメニューの項目は選択できません）
- 電話番号入力画面で、番号を入力する前に ◎ を押すと、発信履歴から電話番号が入力できます。
  また ◎ を押すと、着信履歴から電話番号が入力できます。

Eメールアドレスを入力する

着信番号登録画面で

「✉(メールアドレス1～3)」を選択し、◉【確定】➡

Eメールアドレスを入力 ➡ ◉【決定】

お知らせ

- 入力できる文字数は半角128文字までです。
- 本製品はEメールに対応していませんが、Eメールアドレスを情報として登録することができます。

グループを設定する

登録する電話番号のグループを設定します。

着信番号登録画面で

お買い上げ時：
「グループなし」

「◘(グループ設定)」を選択し、◉【確定】➡

1 ～ 9 でグループを選択または 0「グループなし」

お知らせ

- ひとつのメモリ番号を複数のグループに登録することはできません。
- 「グループ1」～「グループ9」まで登録できます。グループには名前を付けることができます（「グループに名前を付ける」☞77ページ）。
- グループを設定しない場合は「グループなし」に登録されます。

メモリ番号を設定する

着信番号登録画面で

「No(メモリ番号入力)」を選択し、◉【確定】➡

メモリ番号を入力 ➡ ◉【決定】

お知らせ

- 入力できるメモリ番号は「000」～「699」です。
- メモリ番号を指定しない場合は、登録されていない一番小さいメモリ番号に登録されます。
- 入力したメモリ番号がすでに登録されている場合は、登録時に「このメモリ番号のデータを上書きしてよろしいですか？」と表示されます。上書き登録するときは「はい」を選択し、◉【決定】を押してください。

メモを入力する

着信番号登録画面で

「 (メモ入力)」を選択し、【確定】➡ メモを入力 ➡ 【決定】

お知らせ

- 入力できる文字数は全角16文字、半角32文字までです。

他の機能から着信番号に登録する

赤外線通信により、赤外線通信機能を搭載した他の電話機から電話帳データを受信し、
着信番号に登録することができます。
受信および登録方法については、「赤外線通信を利用する」(☞116ページ)をご覧ください。

お知らせ

- 赤外線通信により電話帳データを受信登録できるのは、着信番号のみです。発信先番号には登録できません。

発信先番号を確認する

発信先番号に登録した電話番号を確認します。(1) ～ (3) のダイヤルキーで簡単に表示させることができます。

待受画面で

(1)（発信先番号1）～ (3)（発信先番号3)を1回押す

発信先番号に登録した電話番号が表示されます。

お知らせ

- 発信先番号に登録されていないダイヤルキーを押した場合、電話番号は表示されません。
- ダイヤルキーを2回押すと、発信先番号に登録した電話番号の表示が消えて、ダイヤルがそのまま入力されます。

メモリ番号で確認する

メモリ番号を入力して表示させます。

発着信電話番号メニュー画面で

(1)「発信先番号」➡
検索するメモリ番号(001～003)を入力 ➡ (◉)【決定】

電話番号詳細画面が表示されます。

お知らせ

- 指定したメモリ番号がない場合、発信先番号は選択されません。

着信番号を確認する

着信番号に登録した電話番号を確認します。着信番号は、名前やグループなどで検索することができます。

発着信電話番号メニュー画面で

お買い上げ時：
「メモリ番号検索」

②「着信番号」➡ ◻【MENU】

着信番号検索
メニュー画面

12:34
メモリ番号検索 2/5
❶読みカナ検索
❷メモリNo.検索
❸グループ検索
❹電話番号検索
決定
CLOSE

以下の項目から選択します。

① 読みカナ検索	名前の読み順の着信番号リストが表示され、名前の読みを入力して検索します（「名前（読み）で検索する」☞下記）。
② メモリNo.検索	メモリ番号順の着信番号リストが表示され、メモリ番号を入力して検索します（「メモリ番号で検索する」☞75ページ）。
③ グループ検索	グループに登録されている着信番号をメモリ番号順に表示します（「グループで検索する」☞75ページ）。
④ 電話番号検索	電話番号の一部を入力して、その番号を含む着信番号を検索します（「電話番号で検索する」☞75ページ）。

4
安心設定の使いかた

名前（読み）で検索する

名前の読みを入力して検索します。

着信番号検索メニュー画面で

❶ ①「読みカナ検索」➡ 検索する読みを入力

読みを入力するごとに、該当する名前が選択されます。

❷ 表示したい着信番号を選択し、◉【決定】

電話番号詳細画面が表示されます。

お知らせ

- ひらがな、漢字による検索はできません。
- 入力できる文字数は半角24文字までです。

メモリ番号で検索する

メモリ番号を入力して検索します。

着信番号検索メニュー画面で

❶ (2)「メモリNo.検索」➡ 検索するメモリ番号を入力

入力するごとに、該当するメモリ番号の着信番号が選択されます。

❷ 表示したい着信番号を選択し、(◉)【決定】

電話番号詳細画面が表示されます。

お知らせ

- 指定したメモリ番号がないときは、そのメモリ番号以上で一番近いメモリ番号を表示します。

グループで検索する

選択したグループに登録されている着信番号をメモリ番号順に表示します。

着信番号検索メニュー画面で

❶ (3)「グループ検索」➡

(0) ～ (9) で検索するグループを選択

❷ 表示したい着信番号を選択し、(◉)【決定】

電話番号詳細画面が表示されます。

電話番号で検索する

電話番号の一部を入力して、その番号を含む着信番号を検索します。

着信番号検索メニュー画面で

❶ (4)「電話番号検索」➡

検索する電話番号を入力し、(◉)【決定】

検索結果が表示されます。

❷ 表示したい着信番号を選択し、(◉)【決定】

電話番号詳細画面が表示されます。

お知らせ

- 入力できる数字は32桁までです。

登録内容を編集／削除する

発着信電話番号の登録内容を編集／削除します。

編集する

待受画面で

❶ 【】➡ 安心設定の暗証番号を入力 ➡ 【決定】➡ 「発信先番号」または 「着信番号」を選択

❷ 編集する電話番号を検索し、【決定】➡ 編集する項目を選択 ➡ 【MENU】➡ 「編集」➡ 登録内容を修正 ➡ 【登録】➡「はい」を選択し、【決定】

お知らせ

- 各項目の修正方法については、「発信先番号を登録する」(☞67ページ)または「着信番号を登録する」(☞69ページ)をご参照ください。

削除する

1件削除する

選択した発着信電話番号を1件削除します。

待受画面で

❶ 【】➡ 安心設定の暗証番号を入力 ➡ 【決定】➡ 「発信先番号」または 「着信番号」を選択

❷ 削除する電話番号を検索し、【決定】➡ 【MENU】➡ 「削除」➡「はい」を選択し、【決定】

すべて削除する

発信先番号、着信番号をすべて削除します。

待受画面で

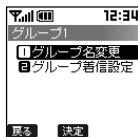
❶ 【】➡ 安心設定の暗証番号を入力 ➡ 【決定】➡ 「電話番号全件削除」➡ 本製品の暗証番号を入力 ➡ 「はい」を選択し、【決定】

グループに名前を付ける　〈グループ名変更〉

着信番号のグループにお好みの名前を付けることができます。

お買い上げ時：
「グループ1」～
「グループ9」

待受画面で

【 】➡ 安心設定の暗証番号を入力 ➡ 【決定】➡ 「グループ設定」➡ 「グループ1」～ 「グループ9」で名前を付けるグループを選択 ➡ 「グループ名変更」➡ 名前を入力 ➡ 【決定】

お知らせ

- 入力できる文字数は全角8文字、半角16文字までです。
- グループ設定は、着信番号のみ設定することができます。

4

安心設定の使いかた

相手によって着信音などを変える　〈グループ着信設定〉

着信番号のグループによって、着信メロディやバイブレータのパターンを変更できます。
あらかじめ以下のことを行ってください。

- 着信番号の登録(「着信番号を登録する」☞69ページ)
- 着信番号のグループ設定(「グループを設定する」☞71ページ)

待受画面で

【 】➡ 安心設定の暗証番号を入力 ➡ 【決定】➡ 「グループ設定」➡ 「グループ1」〜 「グループ9」で設定したいグループを選択 ➡ 「グループ着信設定」➡ 名前を入力 ➡ 【決定】

12:34
グループ1
1設定／解除
2着信音量
3着信メロディ
4バイブ設定
5バイブ優先
戻る　決定

以下の項目から選択します。

項目	操作・説明
設定／解除 お買い上げ時：「OFF」	➡ 「ON」または 「OFF」 「ON」を選択すると、着信時にグループによって着信音などが変えられます。
着信音量 お買い上げ時：「音量レベル2」	➡ で着信音量を選択し、【決定】 設定中のグループから着信があったときの着信音量を選択します。 で音量を選択すると、選択した音量で現在設定されている着信メロディを再生します(マナーモード設定中は、再生されません)。 音量は、OFFと音量レベル1〜3、STEPから選択できます。
着信メロディ お買い上げ時：「花のワルツ」	➡ 〜 、、 で着信メロディを設定する 設定中のグループから着信があったときの着信メロディを選択します。 で選択し、【再生】を押すとメロディを再生できます。再生中に 【OK】を押すと、選択した着信メロディに設定されます。マナーモード設定中は、マナーモードの一時解除画面が表示されますので、「はい」を選択し、【決定】を押すと再生されます。選択できる着信メロディについては「着信メロディを設定する」(☞98ページ)をご参照ください。
バイブ設定 お買い上げ時：「OFF」	➡ 「OFF」または 〜 でパターンを設定する 設定中のグループから着信があったときのバイブレータを選択します。 でパターンを選択すると、選択したパターンでバイブレータが動作します。 バイブレータ動作中に 【決定】を押すと、選択したパターンに設定されます。
バイブ優先 お買い上げ時：「OFF」	➡ 「ON」または 「OFF」 「ON」を選択すると、設定中のグループからの着信時に、着信音が鳴る前にバイブレータが動作します。
LED設定 お買い上げ時：「OFF」	➡ 「OFF」または 〜 でパターンを設定する 設定中のグループから着信があったときのLED(表示ランプ)の点滅パターンを選択します。でパターンを選択すると、選択したパターンでLEDが点滅します。LEDの点滅中に 【決定】を押すと、選択したパターンに設定されます。

5 メールの使いかた

メールについて

本製品はライトメールに対応しています。ライトメールは、ライトメール対応の電話機同士で文字メッセージをやりとりできます。
本製品は、アニメーション絵文字やフレームに対応していますので、送信したい相手の電話機も対応していると、アニメーション絵文字やフレームを添付したメッセージのやりとりができます。

ライトメール機能の仕様

送信文字数	全角45文字まで、半角90文字まで （アニメーション絵文字とフレームは、それぞれ全角1文字分になります）
受信文字数	
文字種	全角：ひらがな・カタカナ・漢字・英字・数字・記号・絵文字 半角：カタカナ・英字・数字・記号
添付ファイル	送受信できません。
メール保存件数	受信メール：最大200件 送信メール：最大200件

お知らせ

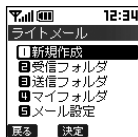
- 発信先番号に登録された電話番号以外の電話番号へはライトメールを送信することができません。
- ライトメールを送信するときは、送信先がライトメール対応機種である必要があります。
- アニメーション絵文字とフレームは、送信先の電話機がそれぞれ対応していないときは、表示できません。
- Pメール対応電話機に送信する場合、半角のカタカナ／英字／数字／記号のみで20文字まで送信できますが、機種によっては送信できない場合があります。

メールメニューについて

メールメニューは、メールに関するさまざまな機能の入り口になります。

待受画面で

以下の項目から選択します。

1 新規作成	新しくメールを作成します(「メールを作成して送信する」☞下記)。
2 受信フォルダ	受信したメールが保存されます。
3 送信フォルダ	送信したメールや保存したメール、送信に失敗したメールが保存されます。
4 マイフォルダ	送受信したメールを振り分けて保存するためのフォルダです。
5 メール設定	メール機能の各種設定ができます(「メールの機能を設定する」☞91ページ)。

メールを作成して送信する　〈ライトメール〉　機能番号11

新しくメールを作成して送信します。作成したメールは、すぐに送信せずに保存しておくこともできます。

待受画面で

メール作成画面が表示されます。

メール作成画面

以下の項目を入力します。

宛先	宛先(電話番号)を入力します(「メールを作成する」☞82ページ)。
本文	本文を入力します(「メールを作成する」☞82ページ)。

メールを作成する

宛先は1件のみ入力できます。宛先や本文に入力できる文字数は以下のとおりです。

宛先(電話番号)	32桁まで
本文	全角45文字、半角90文字まで

本製品は、アニメーション絵文字やフレームに対応していますので、相手の電話機も対応している場合は、本文にアニメーション絵文字やフレームをそれぞれ1種類設定して送信できます。
アニメーション絵文字やフレームを設定した場合、それぞれ全角1文字分になります。

メール作成画面で

メール作成例

❶ 「(宛先)」を選択し、【決定】➡ 【MENU】➡ 3「電話番号1」〜 5「電話番号3」➡ 【確定】

※ 電話番号は直接入力することもできます。
また、発信履歴(リダイヤル)や着信履歴からも入力することができます。

- 直接入力する場合 : **電話番号入力画面で、宛先の電話番号を入力**
- 発信履歴(リダイヤル)から入力する場合 : ➡ **履歴を選択し、【決定】**
- 着信履歴から入力する場合 : ➡ **履歴を選択し、【決定】**

❷ 本文入力欄を選択し、【決定】➡ 本文を入力

アニメーション絵文字、フレームを設定するときは
本文入力中に 【MENU】➡ 4「アニメ設定」または 5「フレーム設定」➡
アニメーション絵文字またはフレームを選択し、【確定】

設定したアニメーション絵文字やフレームは、本文入力中は表示されません。メール作成画面に戻ったときに表示され、確認できます。

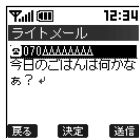
❸ 本文入力後、【決定】

メール作成画面に戻ります。

- **作成したメールを送信するときは、**「メールを送信する」(☞83ページ)をご参照ください。
- **作成したメールを保存するときは、 【戻る】➡「はい」を選択し、【決定】を押す**

作成したメールは送信フォルダに保存されます。保存したメールを編集したり送信するときは、「保存したメールを編集して送信する」(☞83ページ)をご参照ください。

お知らせ

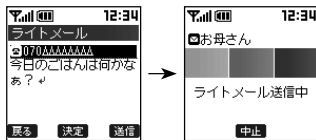
- 相手の電話機の種類によっては、一部表示できない文字があります。
- 本文入力の方法については、「文字の入力と設定」(☞53ページ)をご参照ください。
- 本文を入力するときは、文字入力メニューを利用してさまざまな方法で引用や入力ができます(「文字入力メニューを使う」☞59ページ)。
- メール作成中に電話がかかってきた場合、または を押して作成を中断した場合、作成していたメール内容は送信フォルダに保存されます。続きを作成するには「保存したメールを編集して送信する」(☞83ページ)をご参照ください。

メールを送信する

メール作成画面で

【送信】を押す

送信したメールは送信フォルダに保存されます。

ライトメール
070△△△△△△△△
今日のごはんは何かなぁ？
戻る 決定 送信

お母さん
ライトメール送信中
中止

お知らせ

- 入力した宛先や内容が正しいかどうか、送信の前に確認してください。
- 通話中は、メールを送信することができません。
- 相手の電話機の状態が、留守番電話サービス中／電源が入っていない／通話圏外／通話中のときは、ライトメールを送信しても相手に受信されません。
- 相手の電話機がライトメール非対応の場合は、ライトメールを送信しても通常の着信動作を行います。
- 送信メールは、200件まで保存されます。200件を超えると古いメール(保護されていないメール)から自動的に削除されます。
- ライトメールは分計発信(☞132ページ)を使用して送信することはできません。
- 何らかの理由で送信に失敗した場合も、送信フォルダに保存されます。

保存したメールを編集して送信する

保存されたメールは、送信フォルダに保存されています。

待受画面で

❶ 【✉】➡ 3「送信フォルダ」➡ 保存メールを選択し、【決定】➡ 【MENU】➡ 1「再送/編集」

メール作成画面が表示され、新規作成の場合と同様に、編集したい項目を選択し、内容を編集することができます。編集しないで送信するときは、手順❸の操作を行います。

❷ 編集したい項目を選択し、【決定】➡ 編集後、【決定】

❸ 【送信】

お知らせ

- 送信済や編集したメールは、新たなメールとして送信フォルダに保存されます。

メールを受信／返信／転送する

受信したメールを読む

お知らせ

- 発着信電話番号に登録された電話番号や特別番号(☞146ページ)以外の電話番号からは、メールを受信することができません。

メールを自動的に受信して読む

メールを受信した場合、メール着信音や待受画面の表示で、メールの受信をお知らせします。
この新着情報表示で ◉【MENU】を押すと最新のメールを見ることができます。

待受画面(新着情報表示画面)で

新着情報表示画面

新着情報表示を確認し、◉【MENU】➡ ◉【決定】

お知らせ

- 新着メールが複数ある場合は、新着情報表示画面で ◉【MENU】を押し、「受信メール一覧」から確認できます(「受信メール一覧から受信したメールを読む」☞85ページ)。

受信メール一覧から受信したメールを読む

受信したメールは受信フォルダに保存されます。確認したい受信メールを選択すると、内容が表示されます。

待受画面で

【 】➡ 「受信フォルダ」➡

メールを選択し、【決定】

メールを選択し、【決定】を押すことで、選択した受信メールが表示されます（受信メール詳細画面）。

例：受信メール一覧画面

例：受信メール詳細画面

お知らせ

- 受信メール詳細画面では、以下の操作を行うことができます。
  - ：1行ずつ表示をスクロールします。
  - 【戻る】：受信メール一覧画面に戻ります。
  - ：待受画面に戻ります。
  - 【MENU】：メニューを表示し、メールの返信や削除など、さまざまな機能をご使用できます（「受信メール詳細画面のメニューを使う」☞88ページ）。
- メールの受信メールは合わせて200件まで保存されます。200件を超えると既読の古いメール(保護されていないメール)から自動的に削除されます。
- 各画面のアイコン表示は、以下のようになっています。

■受信メール一覧画面のアイコン

アイコン	説明
	未読メール
	既読メール

■送信メール一覧画面のアイコン

アイコン	説明
	未送信メール
	送信済メール

■受信メール詳細画面、送信メール詳細画面のアイコン

アイコン	説明
	日時
	差出人／宛先：名前

つづく

メールに返信する

受信したメールに返信します。

受信メール詳細画面で

❶ 【MENU】➡ 1「返信引用あり」または 2「返信引用なし」

❷ 本文入力欄を選択し、【決定】➡ 本文を編集し、【決定】➡ 【送信】

お知らせ

- 受信したメールが発信先番号に登録されていない電話番号の場合、そのメールに返信することができません。
- 引用した題名／本文などに、本製品で表示できない文字が含まれている場合、空白に置き換えて引用されることがあります。

メールを転送する

選択したメールは、他のライトメール対応電話機へ転送することができます。

受信メール詳細画面で

【MENU】➡ 3「転送」➡ 宛先を選択し、【決定】➡ 宛先を入力 ➡ 【決定】➡ 本文入力欄を選択し、【決定】➡ 本文を編集 ➡ 【決定】➡ 【送信】

お知らせ

- 引用した題名／本文などに、本製品で表示できない文字が含まれている場合、空白に置き換えて引用されることがあります。

メールを管理する

■ 受信メールの管理について

- 受信したメールは「受信フォルダ」(☞85ページ)に保存されています。「受信メール一覧画面」のメニューを使うと、メールの削除や並べ替え、マイフォルダへの移動などの管理ができます。

■ 送信メールの管理について

- 送信したメールは「送信フォルダ」に保存され、未送信のメールや送信に失敗したメールも一緒に保存されます。
- 「送信メール一覧画面」のメニューを使うと、メールの削除や並べ替え、マイフォルダへの移動などの管理ができます。

■ マイフォルダについて

- マイフォルダには5つのフォルダがあり、それぞれ自分でフォルダ名を付けて受信メールや送信メールを分類することができます。

メール一覧画面のメニューを使う

受信メール一覧画面や送信メール一覧画面から、フォルダ内のメールを削除したり、並べ替えやマイフォルダへ移動させたりすることができます。
マイフォルダのメール一覧画面からも、同じメニューが使えます。

待受画面で

【✉】➡ 2「受信フォルダ」➡ メールを選択 ➡
【MENU】

メール一覧画面のメニュー

以下の項目から選択します。

1 **1件削除**	選択したメールを削除します(「メールを削除する」☞89ページ)。	
2 **全件削除**	選択したフォルダ内の保護設定されていないメールをすべて削除します(「メールを削除する」☞89ページ)。	
3 **フォルダ移動**	➡ 1 ～ 4 **で移動先のフォルダを選択** 選択したメールをマイフォルダに移動します(「メールを別のフォルダに移動する」☞89ページ)。	
4 **ソート**	選択したフォルダ内のメールの表示順番を変更します(「メール一覧の表示順を変える」☞90ページ)。	
	1 **日付**	メールを日付の新しい順に並べ替えます。
	2 **メール状態**	受信メールは、未読メール→既読メール(各々日付の新しい順に並べ替え)の順に並べ替えます。 送信メールは、未送信メール→送信済メール(各々日付の新しい順に並べ替え)の順に並べ替えます。
5 **保護設定(保護解除)**	選択している受信メールを保護／解除します(「メールを保護する」☞90ページ)。	

受信メール詳細画面のメニューを使う

マイフォルダ内の受信メール詳細画面からも、同じメニューが使えます。

待受画面で

【✉】➡ 2「受信フォルダ」➡

メールを選択し、◉【決定】➡ 【MENU】

受信メール詳細画面のメニュー

以下の項目から選択します。

1 **返信引用あり**	表示している受信メールの本文を引用し、差出人に返信します(「メールに返信する」☞86ページ)。
2 **返信引用なし**	表示している受信メールの本文を引用しないで、差出人に返信します(「メールに返信する」☞86ページ)。
3 **転送**	表示している受信メールの本文を引用し、転送します(「メールを転送する」☞86ページ)。
4 **保護設定(保護解除)**	表示している受信メールを保護／解除します(「メールを保護する」☞90ページ)。
5 **発信**	差出人に電話をかけます。

送信メール詳細画面のメニューを使う

マイフォルダ内の送信メール詳細画面からも、同じメニューが使えます。

待受画面で

【✉】➡ 3「送信フォルダ」➡

メールを選択し、◉【決定】➡ 【MENU】

送信メール詳細画面のメニュー

以下の項目から選択します。

1 **再送／編集**	表示されているメールを送信または編集します(「保存したメールを編集して送信する」☞83ページ)。
2 **保護設定(保護解除)**	表示している送信メールを保護／解除します(「メールを保護する」☞90ページ)。

メールを削除する

メール一覧画面のメニュー(☞87ページ)を使って、メールを削除します。

メール一覧画面で

メールを選択 ➡ [MENUキー]【MENU】

メール一覧画面のメニュー

以下の項目から選択します。

1 1件削除	➡「はい」を選択し、[決定キー]【決定】 選択したメールを削除します。
2 全件削除	➡ 本製品の暗証番号を入力 ➡「はい」を選択し、[決定キー]【決定】 フォルダ内の保護設定(☞90ページ)されていないすべてのメールを削除します。

お願い

- 一度削除したメールは復元できません。全件削除する場合はとくにご注意ください。

お知らせ

- 「1件削除」では、保護設定(☞90ページ)されたメールも削除されます。

メールを別のフォルダに移動する

メール一覧画面のメニュー(☞87ページ)を使って、受信メールや送信メールをマイフォルダに移動し、分類できます。

メール一覧画面で

メールを選択 ➡ [MENUキー]【MENU】➡ 3「フォルダ移動」➡ 1 ～ 5 で移動先のフォルダを選択

お知らせ

- マイフォルダ内のメールを選択すると、マイフォルダ内の別のフォルダに移動できます。
- マイフォルダのフォルダ名を変えたいときは、「フォルダ名を変更する」(☞91ページ)をご参照ください。

つづく

メール一覧の表示順を変える(ソート)

メール一覧画面のメニュー(☞87ページ)を使って、メールの表示順を変えることができます。
マイフォルダ内のメールの表示順も、同様の手順で行えます。

メール一覧画面で

【MENU】➡ 4「ソート」

以下の項目から選択します。

1 日付	メールを日付の新しい順に並べ替えます。
2 メール状態	受信メールは、未読メール→既読メールの順に並べ替えます(それぞれ日付の新しい順に表示されます)。 送信メールは、未送信メール→送信済メールの順に並べ替えます(それぞれ日付の新しい順に表示されます)。

メールを保護する

送/受信したメールが、本製品の最大保存件数を超えると、送/受信日時の古いメールから自動的に削除されます。大事なメールが自動削除されたり、誤って削除されないようにするために保護設定を行います。設定方法は2通りあります。

■ メール一覧画面から

メール一覧画面で

メールを選択し、【MENU】➡ 5「保護設定」➡

「はい」を選択し、【決定】

■ メール詳細画面から

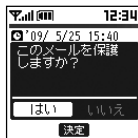
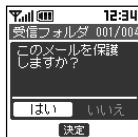
メール一覧画面で

メールを選択し、【決定】➡【MENU】

どちらか

受信メールのとき ➡ 4**「保護設定」**

送信メールのとき ➡ 2**「保護設定」**

➡「はい」を選択し、【決定】

お知らせ

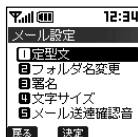
- 保護設定の最大件数は50件です。
- 保護設定を解除するには、保護設定手順を再度行ってください。メールが保護されていた場合、メニューの「保護設定」が「保護解除」に変わっています。
- 保護を設定すると、メールのアイコンに「🔑」が追加されます。

メールの機能を設定する　〈メール設定〉　機能番号15

メール機能に関する各種設定を行います。

待受画面で

メール設定画面

⊡【✉】➡ 5「メール設定」

以下の項目から選択します。

項目		説明
1 定型文		定型文を編集します（「定型文を編集する」☞62ページ）。
2 フォルダ名変更		マイフォルダ内のフォルダ名を変更します（「フォルダ名を変更する」☞下記）。
3 署名		送信するメールの本文に署名を追加します（「署名を設定する」☞92ページ）。
4 文字サイズ		メール詳細画面でのメール本文の文字の大きさを設定します（「メールの文字の大きさを設定する」☞93ページ）。
	1 標準	メール本文の文字を標準の大きさで表示します。
	2 大	メール本文の文字を標準より大きく表示します。
5 メール送達確認音		メールの送信時の確認音を設定します（「メール送信時の確認音を設定する」☞93ページ）。
	1 ON	メールを相手に送信できたときに確認音を鳴らします。
	2 OFF	メール送信時の確認音は鳴りません。

フォルダ名を変更する　〈フォルダ名変更〉　機能番号152

マイフォルダ内のフォルダ名を、メールを分類するときなどに分かりやすくするために変更できます。

お買い上げ時：
「フォルダ1」～
「フォルダ5」

待受画面で

⊡【✉】➡ 5「メール設定」➡ 2「フォルダ名変更」➡ 1「フォルダ1」～ 5「フォルダ5」➡ フォルダ名を編集 ➡ ◉【決定】

お知らせ

- 入力できる文字数は全角8文字、半角16文字までです。

お買い上げ時のフォルダ名にリセットする

変更したフォルダ名を、お買い上げ時のフォルダ名に戻すことができます。

待受画面で

【✉】➡ 5「メール設定」➡ 2「フォルダ名変更」➡ フォルダを選択 ➡ 【MENU】

以下の項目から選択します。

1 1件リセット	➡「はい」を選択し、【決定】 選択したフォルダ名をお買い上げ時に戻します。
2 全件リセット	➡ 本製品の暗証番号を入力 ➡「はい」を選択し、【決定】 すべてのフォルダ名をお買い上げ時に戻します。

署名を設定する 〈署名〉 機能番号153

メール本文に挿入する署名を設定します。

待受画面で

【✉】➡ 5「メール設定」➡ 3「署名」➡ 署名を入力 ➡ 【決定】

お知らせ

- 入力できる文字数は全角45文字、半角90文字です。
- 署名は送信メール本文の文字数にカウントされます。
- 署名を設定しないときは、入力した署名を全文削除してください。

メールの文字の大きさを設定する 〈文字サイズ〉 機能番号154

お買い上げ時：
「標準」

メール詳細画面で表示されるメール本文の文字の大きさを設定します。

待受画面で

⊡【 ✉ 】➡ 5「メール設定」➡ 4「文字サイズ」

以下の項目から選択します。

項目	説明
1 標準	1行あたり全角10文字、半角20文字を表示します。
2 大	1行あたり全角7文字、半角15文字を表示します。

お知らせ

- メール作成時の文字サイズは変更されません。

メール送信時の確認音を設定する 〈メール送達確認音〉 機能番号155

お買い上げ時：
「ON」

メールを送信したとき、相手に送信できたときに確認音でお知らせします。

待受画面で

⊡【 ✉ 】➡ 5「メール設定」➡
5「メール送達確認音」➡ 1「ON」または 2「OFF」

5

メールの使いかた

6 音／バイブレータ／LEDの設定

着信音や着信パターンを設定する 〈着信設定〉 機能番号21

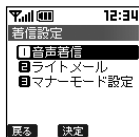
電話がかかってきたときやメールを受信したときの着信音やバイブレータ、LED（表示ランプ、機能キー）の点滅パターンなどを設定します。電話（音声着信）とライトメールで個別に設定できます。

待受画面で

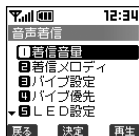
❶ ◎【MENU】➡ 2 1 ➡ 1「音声着信」または 2「ライトメール」を選択

以下の項目から選択します。

1 音声着信	電話がかかってきたときの着信音や着信パターンを設定します。
2 ライトメール	ライトメールを受信したときの着信音や着信パターンを設定します。
3 マナーモード設定	マナーモード中に着信を知らせるバイブレータ、LED（表示ランプ、機能キー）の点滅パターンを設定します（「マナーモード中のバイブレータ／LEDの設定をする」☞51ページ）。

着信設定画面

❷ 1 ～ 6 で項目を選択

以下の項目から選択します。

1 着信音量	電話やメールを受信したときの着信音量を設定します（「着信音量を設定する」☞下記）。
2 着信メロディ	電話やメールを受信したときの着信メロディを設定します（「着信メロディを設定する」☞98ページ）。
3 バイブ設定	電話やメールを受信したときのバイブレータを設定します（「バイブレータを設定する」☞98ページ）。
4 バイブ優先	電話やメールを受信したときに、バイブレータを動作させてから着信音が鳴るように設定します（「バイブレータ優先を設定する」☞99ページ）。
5 LED設定	電話やメールを受信したときのLED（表示ランプ、機能キー）の点滅パターンを設定します（「LEDの点滅パターンを設定する」☞99ページ）。
6 リマインダー設定	不在着信や留守録が録音されているとき、またメールを受信したときに、着信後一定間隔でキーを1回点灯させてお知らせします（「リマインダーを設定する」☞100ページ）。

お知らせ

- 着信設定画面で [Soft key]【再生】を押すと、現在の着信設定が再生され、確認できます。マナーモード設定中は、マナーモードの一時解除画面が表示されますので、「はい」を選択し、[Center key]【決定】を押すと再生できます。再生を中止するときは、[Center key]【OK】または [Soft key]【戻る】を押してください。

着信音量を設定する 〈着信音量〉

電話がかかってきたときやメールを受信したときの着信音量を「OFF」、「音量レベル1」(最小)〜「音量レベル3」(最大)、「STEP」に設定できます。STEPにすると、音がだんだん大きくなります。

お買い上げ時：「音量レベル2」

着信設定画面で

[1キー]「着信音量」➡ [上下キー]で音量を選択し、[Center key]【決定】

お知らせ

- 音量選択中、選択している音量で着信メロディが再生されます。ただし、マナーモード設定中は、着信メロディは再生されません。
- 音声着信の着信音量を「OFF」に設定すると、待受画面に「S」が表示されます。

つづく

着信メロディを設定する　〈着信メロディ〉

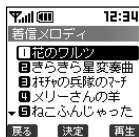
電話がかかってきたときやメールを受信したときの着信音を設定します。

お買い上げ時：
音声着信　：「花のワルツ」
ライトメール　：「オモチャの兵隊のマーチ」

着信設定画面で

2「着信メロディ」を押す

以下の項目から選択します。

1 花のワルツ	5 ねこふんじゃった	9 メロディ3
2 きらきら星変奏曲	6 スイス軍の行進	0 メロディ4
3 オモチャの兵隊のマーチ	7 メロディ1	* メロディ5
4 メリーさんの羊	8 メロディ2	# メロディ6

お知らせ

- 着信メロディを再生したいときは、で着信メロディを選択し、【再生】を押してください。
  マナーモード設定中は、マナーモードの一時解除画面が表示されますので、「はい」を選択し、【決定】を押すと再生されます。
  - 再生中の着信メロディに設定するとき：【OK】を押す
  - 設定せずに戻るとき：【戻る】を押す
- 着信メロディ再生中は、で音量を調節できます。（着信音量の設定は変わりません。）

バイブレータを設定する　〈バイブ設定〉

電話がかかってきたときやメールを受信したとき、バイブレータを振動させてお知らせします。バイブレータは「OFF」、「パターン1」～「パターン3」に設定できます。

お買い上げ時：
「OFF」

着信設定画面で

3「バイブ設定」➡ 1「パターン1」～ 3「パターン3」、または 4「OFF」

お知らせ

- 音声着信のバイブレータを設定すると、待受画面に「」が表示されます。
- バイブレータの振動を確認したいときは、で「パターン1」～「パターン3」を選択すると、選択したパターンでバイブレータが振動します。
  - 振動中のバイブレータに設定するとき：【決定】を押す
  - 設定せずに戻るとき：【戻る】を押す

バイブレータ優先を設定する　〈バイブ優先〉

電話がかかってきたときやメールを受信したとき、設定したバイブレータを振動させてから着信音を鳴らすように設定できます。

お買い上げ時：「OFF」

バイブ優先
1 ON
2 OFF
ONに設定すると
バイブ振動後に
着信音が鳴ります
戻る　決定

着信設定画面で

4「バイブ優先」を押す

以下の項目から選択します。

1 ON	着信時、バイブレータを先に振動させ、約2秒後に着信音が鳴ります。
2 OFF	着信時、バイブレータは着信音と同時に振動します。

LEDの点滅パターンを設定する　〈LED設定〉

電話がかかってきたときやメールを受信したとき、LED（表示ランプ、機能キー）を点滅させてお知らせします。キーの点滅は「OFF」、「パターン1」～「パターン3」に設定できます。

お買い上げ時：「OFF」

着信設定画面で

5「LED設定」➡ 1「パターン1」～ 3「パターン3」、または 4「OFF」

お知らせ

- 点滅パターンを確認したいときは、◎で「パターン1」～「パターン3」を選択すると、選択したパターンでLEDが点滅します。
  - 点滅中のパターンに設定するとき：◉【決定】を押す
  - 設定せずに戻るとき：▢【戻る】を押す

つづく

リマインダーを設定する 〈リマインダー設定〉

不在着信や留守録が録音されているとき、またメールを受信したときに、着信後一定間隔で表示ランプを一回点灯させてお知らせします。着信してからキー点灯までの時間は「10秒」「20秒」「40秒」に設定できます。

お買い上げ時：「OFF」

リマインダー設定
1 10秒
2 20秒
3 40秒
4 OFF
戻る 決定

着信設定画面で

6 「リマインダー設定」を押す

以下の項目から選択します。

1 10秒	不在着信やメール受信10秒後に、緑色で1回点灯します。
2 20秒	不在着信やメール受信20秒後に、赤色で1回点灯します。
3 40秒	不在着信やメール受信40秒後に、緑色から赤色に1回点灯します。
4 OFF	不在着信やメール受信後には点灯しません。

お知らせ

- で「10秒」「20秒」「40秒」を選択すると、上記の点灯パターンが確認できます。

6

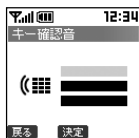
音／バイブレータ／LEDの設定

キーの操作音を設定する 〈キー確認音〉 機能番号22

キーを押したときの音量を「OFF」、「音量レベル1」（最小）～「音量レベル3」（最大）の4段階に調節できます。

お買い上げ時：「音量レベル2」

待受画面で

【MENU】 ➡ 2 ➡ で音量を選択し、【決定】

お知らせ

- 音量選択中、選択している音量でキー確認音が鳴ります。ただし、マナーモード設定中は鳴りません。

保留音を設定する 〈保留音〉 機能番号23

通話を保留しているときに、相手に流れる保留音を設定します。

お買い上げ時：「カノン」

待受画面で

以下の項目から選択します。

1 カノン
2 白鳥
3 花のワルツ

お知らせ

- 保留音を再生したいときは、で保留音を選択し、【再生】を押してください。マナーモード設定中は、マナーモードの一時解除画面が表示されますので、「はい」を選択し、【決定】を押すと、再生されます。
  - 再生中の保留音に設定するとき：【OK】を押す
  - 設定せずに戻るとき：【戻る】を押す
- 保留音再生中は、で音量を調節できます。

受話音量を設定する 〈受話音量〉 機能番号24

通話中の受話口からの音量を「レベル1」(最小)〜「レベル4」(最大)に設定できます。通話中に受話音量を調節するときは、「通話中に受話音量を調節する」(☞43ページ)をご参照ください。

お買い上げ時：「音量レベル3」

待受画面で

【MENU】→ 2 4 → で音量を選択し、【決定】

6

音／バイブレータ／LEDの設定

通知音を設定する 〈通知音設定〉 機能番号25

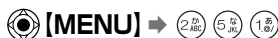
通話中の経過時間や電波状態が悪くなったときに、通知音でお知らせするように設定します。

通話経過時間の通知音を設定する 〈経過時間〉 機能番号251

通話中、1分経過するごとに通知音を鳴らしてお知らせします。

お買い上げ時：「OFF」

待受画面で

【MENU】➡ 2 5 1

以下の項目から選択します。

1 ON	通知音を鳴らします。
2 OFF	通知音を鳴らしません。

圏外のときの通知音を設定する 〈圏外警告音〉 機能番号252

通話中電波状態が悪くなり、通話が切れそうになったときに、警告音を鳴らしてお知らせします。

お買い上げ時：「OFF」

待受画面で

【MENU】➡ 2 5 2

以下の項目から選択します。

1 ON	圏外警告音を鳴らします。
2 OFF	圏外警告音を鳴らしません。

7 画面／照明の設定

待受画面の壁紙を設定する 〈待受画面〉 機能番号31

待受画面に表示する壁紙を設定します。

お買い上げ時：「OFF」

待受画面で

【MENU】➡ 3 1

以下の項目から選択します。

1 OFF	待受画面に壁紙やカレンダーは表示されません。
2 待受画面1	壁紙「待受画面1」を待受画面に表示します。
3 待受画面2	壁紙「待受画面2」を待受画面に表示します。
4 待受画面3	壁紙「待受画面3」を待受画面に表示します。
5 待受画面4	壁紙「待受画面4」を待受画面に表示します。
6 待受画面5	壁紙「待受画面5」を待受画面に表示します。
7 待受画面6	壁紙「待受画面6」を待受画面に表示します。
8 カレンダー	今月のカレンダーを待受画面に表示します。

お知らせ

- 壁紙やカレンダーを確認したいときは、◎で壁紙または「カレンダー」を選択し、◻【確認】を押してください。壁紙確認中、◎を押すと壁紙を順番に表示できます。
  - 表示中の壁紙に設定するとき：◉【OK】を押す。
  - 設定せずに戻るとき：◻【戻る】を押す。

画面やキーのバックライトを設定する〈バックライト〉 機能番号32

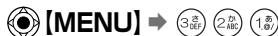
ディスプレイの点灯時間や、キーを押したときのキー照明を設定します。

画面の点灯時間を設定する 〈液晶画面〉 機能番号321

キーを押したときや着信があったときなどの、ディスプレイの点灯時間を設定します。

お買い上げ時：「20秒」

待受画面で

【MENU】➡ 3 2 1

以下の項目から選択します。

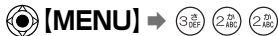
1 5秒	キー操作や着信後、約5秒後にディスプレイが消灯します。
2 10秒	キー操作や着信後、約10秒後にディスプレイが消灯します。
3 20秒	キー操作や着信後、約20秒後にディスプレイが消灯します。
4 40秒	キー操作や着信後、約40秒後にディスプレイが消灯します。
5 60秒	キー操作や着信後、約60秒後にディスプレイが消灯します。

キーの照明を設定する 〈キーパッド〉 機能番号322

キーを押したときのキー照明を設定します。

お買い上げ時：「ON」

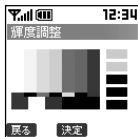
待受画面で

【MENU】➡ 3 2 2

以下の項目から選択します。

1 ON	キー操作後、約15秒間キーが点灯します。
2 OFF	キーを押しても点灯しません。

画面の明るさを設定する 〈輝度調整〉 機能番号33

画面の明るさを「輝度レベル1」(暗い)～「輝度レベル5」(明るい)の5段階に調節できます。

お買い上げ時：「輝度レベル3」

待受画面で

【MENU】➡ 3 3 ➡ で明るさを選択し、【決定】

画面のコントラストを設定する 〈コントラスト〉 機能番号34

画面のコントラストを「コントラスト1」(弱)～「コントラスト5」(強)の5段階に調節できます。

お買い上げ時：「コントラスト3」

待受画面で

【MENU】➡ 3 4 ➡ でコントラストを選択し、【決定】

ダイヤル発信中やメール送信中の動画を設定する〈動画設定〉 機能番号35

ダイヤル発信中やメール送信中に表示される動画を設定します。

お買い上げ時：
「ON」

待受画面で

以下の項目から選択します。

1 ON	ダイヤル中やメール送信中に動画を表示します。
2 OFF	ダイヤル中やメール送信中に動画を表示しません。

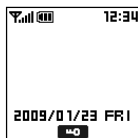
8 セキュリティ機能の設定

キーロックを設定／解除する

待受画面で誤ってキーが押されても動作しないように、PWRと[側面キー]以外のキーをロックできます。

待受画面で

[側面キー]を長く（約1秒以上）押す

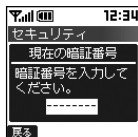
キーロックを解除するときは、もう一度[側面キー]を長く（約1秒以上）押してください。

お知らせ

- キーロック設定中は、待受画面に「[キーロックアイコン]」が表示されます。
- キーロック設定中でも、以下の場合はキー操作ができます。
  - 着信中や通話中
  - アラーム動作中
- キーロック設定中は、PWRを長く（約1秒以上）押しても電源は切れません。キーロックを解除してから行ってください。

安心設定の暗証番号を変更する 〈安心設定〉 機能番号71

発着信電話番号の登録／検索／編集／削除／赤外線受信を行うには、安心設定の暗証番号の入力が必要です。暗証番号は、４～8桁の数字で設定します。
お買い上げ時の設定から、お好みの番号に変更することをおすすめします。

待受画面で

◉【MENU】➡ 7 1 ➡ 安心設定の暗証番号を入力 ➡ 新暗証番号を入力 ➡ もう一度新暗証番号を入力

お願い

- 安心設定の暗証番号は、本製品の暗証番号とは異なります（「本製品の暗証番号を変更する」☞109ページ）。入力するときは、まちがえないようご注意ください。
- 暗証番号は必ずメモを取るなどして、手元にお控えください。万一暗証番号をお忘れになった場合は修理での対応となりますので、ウィルコムサービスセンター(☞151ページ)にお問い合わせください。

ダイヤルロックを設定／解除する 〈ダイヤルロック〉 機能番号72

ダイヤルロックを設定すると、着信／受信以外の操作ができない状態になります。

ダイヤルロックを設定する

待受画面で

お買い上げ時：「解除」

◉【MENU】➡ 7 2 ➡ **本製品の暗証番号を入力**

お知らせ

- ダイヤルロックを設定すると、待受画面に「🔒」が表示されます。
- ダイヤルロック設定中でも、以下の場合は操作ができます。
  - 着信中の応答や通話中の保留／保留解除
  - アラーム動作中のアラーム停止
  - 電源のON／OFF
- 本製品の暗証番号を変更する(☞下記)

ダイヤルロックを解除する

待受画面で

ダイヤルロックされた状態で、本製品の暗証番号を入力する

本製品の暗証番号を変更する 〈暗証番号変更〉 機能番号73

お使いの本製品の暗証番号を4桁の数字で設定します。お客様の個人情報を保護するため、お買い上げ時の設定からお好みの番号に変更することをおすすめします。

お買い上げ時：「0000」

待受画面で

◉【MENU】➡ 7 3 ➡ **本製品の暗証番号を入力** ➡ **新暗証番号を入力** ➡ **もう一度新暗証番号を入力**

- 本製品の暗証番号をお忘れになった場合は、出荷時設定(☞110ページ)を行ってください。本製品の暗証番号がお買い上げ時の状態に戻ります。出荷時設定を行うには、安心設定の暗証番号の入力が必要です。

8 セキュリティ機能の設定

登録内容や各機能の設定をリセットする 〈設定リセット〉 機能番号74

登録内容や各機能設定をリセットし、お買い上げ時の状態に戻します。

各機能の設定をリセットする 〈Function 項目〉 機能番号741

各種機能(機能設定のみ)の設定内容をリセットし、お買い上げ時の状態に戻します。

待受画面で

1. 【MENU】➡ 7 4 1「Function項目」
2. 本製品の暗証番号を入力 ➡「はい」を選択し、【決定】

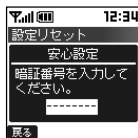
お知らせ

- Function項目でリセットされる機能の一覧については、「機能一覧」(☞139ページ)をご参照ください。

すべてリセットする 〈出荷時設定〉 機能番号742

製品の登録、設定、録音内容や履歴をすべてリセットし、お買い上げ時の状態に戻します。
送受信したメールや発着信電話番号の登録内容もすべて削除されますのでご注意ください。

待受画面で

1. 【MENU】➡ 7 4 2「出荷時設定」
2. 安心設定の暗証番号を入力 ➡
「はい」を選択し、【決定】

お知らせ

- 以下の設定内容は、「出荷時設定」を行ってもリセットされません。
  - W-SIM設定(☞111ページ)
  - LI設定(☞125ページ)
- 出荷時設定後は、安心設定および本製品の暗証番号もお買い上げ時の状態に戻ります。

W-SIMの認証コード(PINコード)を設定する 〈W-SIM設定〉 機能番号75

W-SIMを有効にするための認証コード(PINコード)の変更や、本製品の電源を入れたときに、W-SIMの認証コード(PINコード)の入力を必要とするかどうかの設定(認証設定)を行います。
設定は、W-SIMの機能をよくご理解した上で行ってください。

お買い上げ時：
「解除」

待受画面で

以下の項目から選択します。

項目	操作
1 認証コード変更	➡ 【OK】➡ 認証コード(PINコード)を入力し、【決定】➡ 新認証コード(新PINコード)を入力し、【決定】➡ もう一度新認証コード(新PINコード)を入力し、【決定】 W-SIMの認証コード(PINコード：4〜16桁の数字)を変更します。W-SIMの認証が設定されているときのみ変更できます。
2 認証設定	■W-SIMの認証を設定するとき(W-SIMの認証が解除されているとき) ➡ 【OK】➡ 認証コード(PINコード)を入力し、【決定】➡ もう一度認証コード(PINコード)を入力し、【決定】 W-SIMの認証コード(PINコード：4〜16桁の数字)を設定し、電源を入れたときに認証コード(PINコード)の入力が必要になります。 ■W-SIMの認証を解除するとき(W-SIMの認証が設定されているとき) ➡ 【OK】➡ 暗証番号入力 ➡ 認証コード(PINコード)を入力し、【決定】➡「はい」を選択し、【決定】 W-SIMの認証コード(PINコード)を削除し、W-SIMの認証を解除します。

お願い

- W-SIMの認証コード(PINコード)の入力を続けて10回まちがえると、「PUKコードを入力してください。」と表示されます。
  PUKコードを入力すると、新しく認証コード(PINコード)を登録することができます。PUKコードは、お使いのW-SIMの保証書に記載されています。万一、W-SIMの保証書を紛失された場合は、修理での対応となりますので、ウィルコムサービスセンター(☞151ページ)にお問い合わせください。
- 認証コード(PINコード)は必ずメモを取るなどして、手元にお控えください。万一認証コード(PINコード)をお忘れになった場合は、修理での対応となりますので、ウィルコムサービスセンター(☞151ページ)にお問い合わせください。

9 その他の便利な機能

自分の電話番号を確認／登録する　〈プロフィール〉　機能番号 0

自分の電話番号を確認する

ご使用になっている本製品の電話番号を確認します。

待受画面で

【MENU】➡ 0

お知らせ

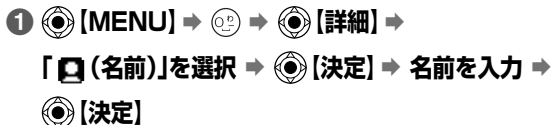
- W-SIMを取り付けていない場合は、プロフィールを見ることができません。

詳細を登録する

自分の名前を登録します。名前に入力できる文字数は全角9文字、半角19文字までです。

お買い上げ時：「未登録」

待受画面で

1 【MENU】➡ 0 ➡ 【詳細】➡ 「(名前)」を選択 ➡ 【決定】➡ 名前を入力 ➡ 【決定】

- 各項目の入力方法は、「発信先番号の各項目を登録する」(☞67ページ)または「着信番号の各項目を登録する」(☞69ページ)をご参照ください。

2 【MENU】➡ 1「登録」➡「はい」を選択し、【決定】

登録した詳細を確認／編集／削除する

詳細を確認する

待受画面で

【MENU】➡ ➡ 【詳細】

詳細表示画面

詳細を編集する

詳細表示画面で

「（名前）」を選択 ➡ 【決定】➡
編集し、【決定】➡ 【MENU】➡
「登録」➡「はい」を選択し、【決定】

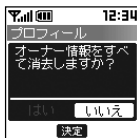
詳細をすべて削除する

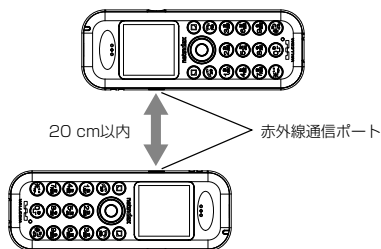
登録した詳細をすべて削除します。

詳細表示画面で

【MENU】➡ 「一括消去」➡「はい」を選択し、
【決定】

9

その他の便利な機能

赤外線通信を利用する

赤外線通信により、赤外線通信機能を搭載した他の電話機から電話帳データを受信することができます。
赤外線の通信距離は20cm以内でご利用ください。それぞれの電話機の赤外線通信ポートを向い合わせ、データの送受信が終わるまで動かさないでください。
赤外線通信を利用するには、送信側と受信側でそれぞれ準備する必要があります。受信する際は、受信状態に設定してから、相手より送信される電話帳データを受信してください。

お願い

- 赤外線通信中は、指などで赤外線通信ポートをおおわないようにしてください。
- 赤外線通信ポートが汚れていると通信できにくくなります。柔らかな布で拭き取ってからご利用ください。
- 電話帳データの受信には、安心設定の暗証番号の入力が必要です。
- 電話帳データを全件受信するには、認証パスワードの入力が必要です。認証パスワードは赤外線通信のための専用のパスワードです。パスワードは任意の4桁の数字となりますが、送信側と同じパスワードを入力する必要があります。通信相手とパスワードを取り決めてから通信を行ってください。

お知らせ

- 受信できる電話帳データの容量は1.２Mバイトまでです。
- 受信した電話帳データは、着信番号に登録されます。
- 直射日光が当たる場所、蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
- W-SIMを取り付けていない場合は、電話帳データを受信することができません。
- 赤外線通信による電話帳データの受信は、すべての電話機に対して完全な互換性を保証するものではありません。
- 赤外線通信中は、消費電力が大きくなります。
- 赤外線通信中は、停波モードとなります(「電波の送受信を停止する」☞123ページ)。

データを受信する 〈赤外線受信〉 機能番号83

本製品を受信待ちの状態にし、相手から送信される電話帳データを受信します。

待受画面で

❶ 【MENU】 ➡ 8 3

❷ **安心設定の暗証番号を入力**

❸ **赤外線通信ポートを相手の赤外線通信ポートに向ける**

以降は、受信データにあわせて操作してください。

電話帳データを1件または複数件受信した場合

赤外線通信による受信画面（例：1件受信の場合）

❶「はい」を選択し、◎【決定】

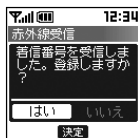
送信側から電話帳データを受信し、着信番号に登録します。
「メモリNo.XXXに登録しました。」と表示されます。

❷ ◎【OK】

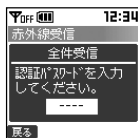
「もう一件受信しますか？」と表示されます。

❸「いいえ」を選択し、◎【決定】

続けて受信する場合は、「はい」を選択してください。赤外線受信中画面に戻ります。

電話帳データを全件受信した場合

赤外線通信による受信画面（例：全件受信の場合）

❶ 認証パスワードを入力

送信側から電話帳データを受信します。送信される電話帳データの件数が多い場合、受信に時間がかかります。
受信後、「着信番号をXXX件受信しました。登録しますか？」と表示されます。

❷「はい」を選択し、◎【決定】

以下の項目から選択します。

1 追加登録	着信番号に追加して登録します。
2 上書登録	➡ **本製品の暗証番号を入力** 本製品の着信番号に登録された電話番号データを削除して、受信した電話帳データを上書き登録します。
3 キャンセル	受信データを登録せずに赤外線受信を終了します。

追加登録または上書登録を選択した場合、「XXX件登録しました。」と表示されます。

❸ ◎【OK】

お知らせ

- 電話帳データを複数件受信、または全件受信した場合、着信番号の登録可能件数を超えて受信すると「着信番号がいっぱいになりました。」と表示され、以降のデータは登録されません。
- 送信側の電話機から絵文字を伴うデータを受信した場合、正しく登録されないことがあります。
- 名前が設定されていない電話帳データを受信した場合、名前に「名前なし」が登録されます。また、フリガナについても設定されていない場合、「ナマエナシ」が登録されます。
- グループ名は、電話帳データを全件受信し、上書登録した場合のみ登録されます。
- 本製品の着信番号の各項目の最大入力文字数を超えたデータを受信した場合、最大入力文字数以降のデータは削除されます。メールアドレスの場合は、すべて削除されます。

アラーム機能を使う 〈アラーム設定〉 機能番号41

設定した日付と時刻にアラーム音を鳴らしたり、目覚し時計などとして使うことができます。
アラームは3件まで登録できます。

アラーム設定を登録／編集する

待受画面で

1 【MENU】➡ 4 1 ➡ 1「アラーム1」～ 3「アラーム3」

アラーム一覧画面

以下の項目から選択し、必要な項目を登録／編集します。

項目		
1 ON/OFF お買い上げ時：「OFF」	1 ON	設定した内容でアラームを鳴らします。
	2 OFF	アラームは鳴らしません。
2 時刻設定 お買い上げ時：「00：00」	➡ 時刻を入力し、【確定】 指定した時刻にアラームを鳴らします。 時刻は24時制で入力します。	
3 曜日設定 お買い上げ時： アラーム1：「月－金」 アラーム2：「土日」 アラーム3：「毎日」	1 毎日	毎日アラームを鳴らします。
	2 月－金	平日(月～金)にアラームを鳴らします。
	3 土日	週末(土日)にアラームを鳴らします。
	4 曜日指定	➡ 1「日曜日」～ 7「土曜日」➡ 1「ON」または 2「OFF」 「ON」に設定した曜日にアラームを鳴らします。
4 アラーム音量 お買い上げ時：「音量レベル2」	➡ でアラーム音量を選択し、【決定】 指定した音量でアラームを鳴らします。 押すごとに、選択した音量で現在設定されているアラーム音を再生します(マナーモード設定中は、再生されません)。音量は、OFFと音量レベル1～3、STEPから選択できます。	
5 アラーム音種 お買い上げ時： アラーム1：「花のワルツ」 アラーム2：「きらきら星 変奏曲」 アラーム3：「オモチャの 兵隊のマーチ」	➡ 0 ～ 9、*、# でアラーム音を設定する 設定したアラーム音でアラームを鳴らします。 で選択し、【再生】を押すとアラーム音を再生できます。 再生中に【OK】を押すと、選択したアラーム音に設定されます。マナーモード設定中は、マナーモードの一時解除画面が表示されますので、「はい」を選択し、【決定】を押すと再生されます。 選択できるアラーム音については「着信メロディを設定する」(☞98ページ)をご参照ください。	
6 バイブ設定 お買い上げ時：「OFF」	➡ 4「OFF」または 1 ～ 3 でパターンを設定する 設定したパターンでバイブレータを動作させます。 でパターンを選択すると、選択したパターンでバイブレータが動作します。 バイブレータ動作中に【決定】を押すと、選択したパターンに設定されます。	

7 LED設定 お買い上げ時：「OFF」	➡ 4「OFF」または 1 ～ 3 でパターンを設定する 設定したパターンでLED（表示ランプ）を点滅させます。 ◎でパターンを選択すると、選択したパターンでLEDが点滅します。LEDの点滅中に ◉【決定】を押すと、選択したパターンに設定されます。	
8 スヌーズ設定 お買い上げ時：「OFF」	1 ON	アラームを5分間隔で3回まで鳴らします。
	2 OFF	アラームを1回だけ鳴らします。

❷ 【登録】を押す

お知らせ

- 電源を切っていると、アラームは動作しません。
- マナーモード設定中は、アラーム音は鳴りません。
- アラームを設定すると、待受画面に「 」が表示されます。
- 以下の状態ではアラームは動作しません。
  - 通話中／発信中／着信中
  - 留守応答中／録音中／再生中
- アラームの時刻が重複して設定されたときは、アラーム1～3の順に優先されます。
- アラームとスケジュール（☞121ページ）の時刻が重複して設定されたときは、スケジュールが優先されます。

アラーム設定を一時停止する

アラーム一覧画面で

1「アラーム1」～ 3「アラーム3」で一時停止したいアラーム設定を選択 ➡ 1「ON/OFF」➡ 2「OFF」➡ 【登録】

お知らせ

- 一時停止したアラームを再開するには、上記手順で 1「ON」を選択してください。

アラームを止める

アラームが鳴っているときに

◉【停止】または PWR

お知らせ

- アラーム動作中に着信／メール受信があると、アラーム動作を停止します。
- スヌーズ設定が「ON」のときは、「スヌーズを解除しますか？」と表示されます。
  - スヌーズを解除するときは：「はい」を選択し、◉【決定】を押す
  - スヌーズを解除しないときは：「いいえ」を選択し、◉【決定】を押す
    約5分後、再度アラームが鳴ります。

時計の表示方法を設定する　〈表示モード〉　機能番号42

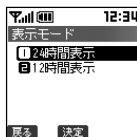
待受画面の時計の表示方法を設定します。

お買い上げ時：
「24時間表示」

待受画面で

【MENU】➡ 4 2

以下の項目から選択します。

1 24時間表示	時刻を24時間(0：00～23：59)で表示します。
2 12時間表示	時刻を12時間(0：00～11：59)で表示します。 午前は時刻の前に「A」、午後は「P」が表示されます。

カレンダーを表示する　〈暦(こよみ)〉　機能番号44

待受画面で

【MENU】➡ 4 4

今月のカレンダーが表示されます。

カレンダー画面

お知らせ

● カレンダー画面表示中は、以下の操作を行うことができます。

◎	前の月を表示します。
◎	次の月を表示します。
【戻る】	カレンダー画面を終了します。

● 表示できる月は、2009年1月～2099年12月までです。
● カレンダー画面からは、スケジュールに登録した内容は確認できません。

スケジュール機能を使う 〈スケジュール〉 機能番号81

会議や待ち合わせ時間など、スケジュールを登録しておくと、指定した日時にアラームでお知らせします。スケジュールは7件まで登録できます。

お買い上げ時：「未登録」

スケジュールを登録／編集する

待受画面で

❶ 【MENU】➡ 8 1 ➡

1 〜 7 で登録／編集する番号を選択

以下の項目から選択し、必要な項目を登録／編集します。

項目	説明
1 日時 お買い上げ時：「現在日時表示」	➡ **日付時刻を入力し、【確定】** 指定した日時にアラームを鳴らします。 西暦は下2桁、時刻は24時制で入力します。 入力できる日時は、2009年1月1日 0：00〜2099年12月31日 23：59までです。
2 内容 お買い上げ時：「未登録」	➡ **スケジュールの内容を入力し、【決定】** 入力できる文字数は全角26文字、半角52文字までです。
3 アラーム音量 お買い上げ時：「音量レベル2」	➡ **でアラーム音量を選択し、【決定】** 指定した音量でアラームを鳴らします。 押すごとに、選択した音量で現在設定されているアラーム音を再生します（マナーモード設定中は、再生されません）。音量は、OFFと音量レベル1〜3、STEPから選択できます。
4 アラーム音種 お買い上げ時：「花のワルツ」	➡ **0 〜 9、*、# でアラーム音を設定する** 設定したアラーム音でアラームを鳴らします。 で選択し、**【再生】**を押すとアラーム音を再生できます。 再生中に**【OK】**を押すと、選択したアラーム音に設定されます。マナーモード設定中は、マナーモードの一時解除画面が表示されますので、「はい」を選択し、**【決定】**を押すと再生されます。 選択できるアラーム音については「着信メロディを設定する」（☞98ページ）をご参照ください。
5 バイブ設定 お買い上げ時：「OFF」	➡ **4「OFF」または 1 〜 3 でパターンを設定する** 設定したパターンでバイブレータを動作させます。 でパターンを選択すると、選択したパターンでバイブレータが動作します。 バイブレータ動作中に**【決定】**を押すと、選択したパターンに設定されます。
6 LED設定 お買い上げ時：「OFF」	➡ **4「OFF」または 1 〜 3 でパターンを設定する** 設定したパターンでLED（表示ランプ）を点滅させます。 でパターンを選択すると、選択したパターンでLEDが点滅します。LEDの点滅中に**【決定】**を押すと、選択したパターンに設定されます。

❷ 【登録】を押す

つづく

お知らせ

- 電源を切っていると、アラームは動作しません。
- マナーモード設定中は、アラーム音は鳴りません。
- スケジュールは、待受画面で を押しても表示できます。
- 以下の状態では、アラームは動作しません。
  - 通話中／発信中／着信中
  - 留守応答中／録音中／再生中
- スケジュールの日時が重複して設定されたときは、スケジュールの番号順(1〜7)に優先されます。
- スケジュールとアラーム(☞118ページ)の時刻が重複して設定されたときは、スケジュールが優先されます。

スケジュールを削除する

待受画面で

【MENU】 ➡ 8 1 ➡

で削除するスケジュールを選択 ➡ 【MENU】

以下の項目から選択します。

1 **1件削除**	➡「はい」を選択し、【決定】 選択したスケジュールを削除します。
2 **全件削除**	➡「はい」を選択し、【決定】 スケジュールをすべて削除します。

電卓を使う 〈電卓〉 機能番号82

電卓として使用します。電卓はディスプレイ中央の操作ガイドを見ながら操作することができます。

待受画面で

❶ 【MENU】 ➡ 8 2

❷ ダイヤルキーと以下のキーを使用して計算する

	＋（たす）
	−（ひく）
	×（かける）
	÷（わる）

	＝（計算結果表示）
	小数点を入力します。
	C（表示している数字のクリア）

お知らせ

- 電卓機能の表示可能な桁数は10桁までです。
- 計算の結果にエラーが出た場合は「E」が表示されます。このとき を押すとエラーが解除されます。

メモ帳を使う 〈メモ帳〉 機能番号84

本製品をメモ帳代わりに使用することができます。メモ帳は10件まで登録できます。

お買い上げ時：「未登録」

メモを登録／編集する

待受画面で

【MENU】 ➡ 8 4 ➡ 0 〜 9 で登録／編集する

メモ帳を選択 ➡ メモを入力 ➡ 【決定】

お知らせ

- 入力できる文字数は1件あたり全角32文字、半角64文字までです。

メモを削除する

待受画面で

【MENU】 ➡ 8 4 ➡ で削除するメモ帳を選択 ➡ 【MENU】

以下の項目から選択します。

1 1件削除	➡「はい」を選択し、【決定】 選択したメモ帳を削除します。
2 全件削除	➡「はい」を選択し、【決定】 メモ帳をすべて削除します。

電波の送受信を停止する 〈停波モード〉 機能番号85

電源を切らずに、電波の送受信を停止することができます。電話の発信、着信、メールの送受信はできなくなります。

お買い上げ時：「OFF」

待受画面で

【MENU】 ➡ 8 5

以下の項目から選択します。

1 ON	電波の送受信を停止します。
2 OFF	電波の送受信を行います。

お知らせ

- 停波モードを「ON」にすると、ディスプレイの電波状態表示は「OFF」になります。

9 その他の便利な機能

小さな声で話せるように設定する 〈小声通話〉 機能番号61

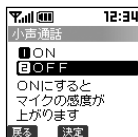
公共の場所や静かな場所で、周囲に迷惑をかけないように小さな声で話せるように設定します。小声通話中は小さな声でお話ししても、相手には通常の声の大きさで伝わります。

お買い上げ時：「OFF」

小声通話
1 ON
2 OFF
ONにすると
マイクの感度が
上がります
戻る 決定

待受画面で

以下の項目から選択します。

1 ON	通話中は小声通話に設定されます。
2 OFF	通話中は通常の状態です。

お知らせ

- 小声通話で通話中は、画面に「 」が表示されます。
- 小声通話中は、相手の声も少し大きく聞こえます。ただし受話音量を最大にしているときは変わりません。
- 通話中に小声通話を設定／解除することもできます(☞43ページ)。

相手が応答したことをお知らせする 〈応答バイブ〉 機能番号64

電話をかけたとき、相手が応答したことを振動(バイブレータ)でお知らせします。メール受信時は、応答バイブでお知らせしません。

お買い上げ時：「OFF」

待受画面で

【MENU】➡ 6 4

以下の項目から選択します。

1 ON	応答バイブを設定します。
2 OFF	応答バイブを解除します。

現在の位置情報を通知する

一つの基地局のカバーするエリアが半径100〜500mという利点を生かし、発信／着信の際に把握する近隣の基地局からの情報をセンターに通知します。別途、ウィルコムの位置検索サービスにお申し込みになると、この情報をもとに位置情報サービスをご利用になれます。

- **LI（Location Information ／位置情報通知）**機能：本製品が認識する複数の基地局とその電界強度を通知する機能です。
- **自動位置情報送出**：LI機能を「ON」に設定すると、自動位置情報送出を設定することができます。本製品に通知許可番号として登録している電話番号から遠隔操作で現在位置の送出を要求された場合、自動的に位置情報を通知します。

LI機能を設定する　〈LI設定〉 機能番号66

お買い上げ時：「OFF」

LI（Location Information ／位置情報通知）機能を「ON」に設定すると、「自動位置情報送出」を設定することができます。遠隔操作により、移動する人や物などの位置を、パソコンなどのディスプレイ上にリアルタイムで表示します。迷子防止や物品の管理のためなどに設定することができます。
自動位置情報送出では、以下の3つの機能を設定することができます。

- 自動位置情報送出
- 位置情報を通知する電話番号（通知許可番号）の登録／修正／消去
- 位置情報送出時の送出確認音（着信音）の設定

待受画面で

【MENU】➡ 6 6 ➡ 1「ON」➡ 【決定】➡
LI暗証番号を入力（お買い上げ時：「0000」）

LI設定画面

以下の項目から選択します。

1 通知許可番号一覧	位置情報送出が要求されたときに、位置情報を自動的に送る電話番号の登録をします（「通知許可番号と通知許可パスワードを登録／編集する」☞126ページ）。
2 自動位置情報送出	通知許可番号として登録されている電話番号から位置情報送出が要求されたとき、位置情報を自動的に送るかどうかの設定をします（「自動位置情報送出を設定する」☞127ページ）。あらかじめ、通知許可番号を登録しておく必要があります。
3 着信音設定	自動位置情報送出で位置情報を送ったときに、送信確認音を鳴らすかどうかの設定をします（「位置情報が通知されたときの着信音を設定する」☞127ページ）。
4 LI暗証番号変更	LI機能を設定するための暗証番号（4桁の数字）を変更します（「LI暗証番号を変更する」☞127ページ）。

お願い

- LI暗証番号は、本製品の暗証番号とは異なります（「本製品の暗証番号を変更する」☞109ページ）。入力するときは、まちがえないようご注意ください。

通知許可番号と通知許可パスワードを登録／編集する 〈通知許可番号一覧〉

自動位置情報を送る電話番号を、「通知許可番号」として登録します。
電話番号は20件まで登録することができ、それぞれに通知許可パスワードを設定します。通知許可パスワードについては、位置情報サービス提供会社へお問い合わせください。

LI設定画面で

1「通知許可番号一覧」➡[未登録]を選択し、◉【決定】➡ 通知許可番号を入力し、◉【確定】➡ 通知許可パスワードを入力し、◉【決定】➡ もう一度通知許可パスワードを入力し、◉【決定】➡「はい」を選択し、◉【決定】

■ 編集するとき

LI設定画面で 1「通知許可番号一覧」➡ 編集したい番号を選択し、◉【決定】➡ 通知許可番号を編集し、◉【確定】➡ 現在の通知許可パスワードを入力し、◉【決定】➡ 新しい通知許可パスワードを入力し、◉【決定】➡ もう一度新しい通知許可パスワードを入力し、◉【決定】➡「はい」を選択し、◉【決定】

お知らせ

- 入力できる通知許可番号は32桁までです。
- 入力できる通知許可パスワードは1桁から8桁までです。
- 通知許可番号と通知許可パスワードを登録すると、待受画面に「LI」が表示されます。LI機能または自動位置情報送出が「OFF」に設定されているときは、表示されません。

通知許可番号と通知許可パスワードを削除する

登録した通知許可番号と通知許可パスワードを削除します。

LI設定画面で

1「通知許可番号一覧」➡ 削除する番号を選択 ➡ ▣【MENU】

以下の項目から選択します。

1 1件削除	➡「はい」を選択し、◉【決定】 選択した通知許可番号と通知許可パスワードを削除します。
2 全件削除	➡ 本製品の暗証番号を入力 ➡「はい」を選択し、◉【決定】 通知許可番号と通知許可パスワードをすべて削除します。

自動位置情報送出を設定する 〈自動位置情報送出〉

通知許可番号として登録されている電話番号から位置情報送出が要求されたとき、位置情報を自動的に送るかどうかを設定します。

お買い上げ時：「OFF」

LI設定画面で

2「自動位置情報送出」➡ 1「ON」または 2「OFF」

お願い

- 自動位置情報送出機能を利用するときは、LI機能を「ON」に設定し（「LI機能を設定する」☞125ページ）、有効な通知許可番号が登録されている必要があります（「通知許可番号と通知許可パスワードを登録／編集する」☞126ページ）。

お知らせ

- 自動位置情報送出で位置情報を送る相手の電話番号は、通知許可番号で登録します（「通知許可番号と通知許可パスワードを登録／編集する」☞126ページ）。通知許可番号を登録すると、自動位置情報送出は自動的に「ON」に設定されます。
- 自動位置情報送出を設定すると、待受画面に「LI」が表示されます。LI機能が「OFF」に設定されているときは、表示されません。

位置情報が通知されたときの着信音を設定する 〈着信音設定〉

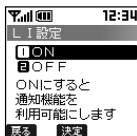
自動位置情報送出で位置情報を送ったときに、送信確認音を鳴らすかどうかを設定します。

お買い上げ時：「ON」

LI設定画面で

3「着信音設定」➡ 1「ON」または 2「OFF」

お知らせ

- 送信確認音は、着信設定（☞96ページ）の「音声着信」で設定されている内容で鳴ります。

LI暗証番号を変更する 〈LI暗証番号変更〉

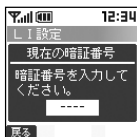
LI機能を設定するための暗証番号を4桁の数字で設定します。お客様の位置情報などを保護するため、お買い上げ時の設定からお好みの番号に変更することをおすすめします。

お買い上げ時：「0000」

LI設定画面で

4「LI暗証番号変更」➡ LI暗証番号を入力 ➡ 新LI暗証番号を入力 ➡ もう一度新LI暗証番号を入力

お願い

- LI暗証番号は、本製品の暗証番号とは異なります（「本製品の暗証番号を変更する」☞109ページ）。
  入力するときは、まちがえないようご注意ください。
- LI暗証番号は必ずメモを取るなどして、手元にお控えください。万一LI暗証番号をお忘れになった場合は修理での対応となりますので、ウィルコムサービスセンター（☞151ページ）にお問い合わせください。

相手から位置情報送出の要求があったとき

LI機能および自動位置情報送出を「ON」に設定すると、あらかじめ登録している通知許可番号から位置情報送出の要求があったとき、自動的に位置情報を送ります。詳しくは、位置情報サービス提供会社へお問い合わせください。

お知らせ

- 本製品の操作中に位置情報送出の要求があったとき、操作は中断されます。位置情報の送出が終了すると、待受画面に戻ります。

10 ウィルコムの各種サービス

位置検索サービスについて

ウィルコムの位置検索サービスは、ウィルコムのきめこまやかなマイクロセルネットワークを利用することで、GPSの電波が届かない建物の中や地下街にいても、位置検索サービスにお申し込みのウィルコムの電話のおおよその位置を地図で確認することができます。ご利用いただくにはあらかじめお申し込みが必要です。
このサービスを利用することによって、現在の位置情報を通知することができます（「現在の位置情報を通知する」☞125ページ）。詳しくはウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。

留守番電話サービスについて　〈留守電サービス〉　機能番号91

電源をOFFにしているときや、サービスエリア外にいるとき、また、エリア内にいてもすぐに電話に出られないときや通話中のときに、ウィルコムの「留守番電話センター」がお客様に代わってメッセージをお預かりするサービスです。ご利用いただくにはあらかじめお申し込みが必要です。
お預かりしたメッセージは、お使いの本製品の他に、プッシュ信号を送信できる一般加入電話や公衆電話からも聞くことができます。

- 留守番電話サービスは以下の条件にてメッセージをお預かりします。
  - メッセージの最大保存件数：20件
  - メッセージの最大録音時間：1件あたり約60秒
  - メッセージの保存期間：約73時間（保存操作を行うことで、さらに約73時間保存されます）
- お買い上げ時は呼出回数7回（約20秒）で留守番電話センターにおつなぎします。
- 呼出回数は1 ～15回まで選択することができます。
- 詳しくはウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。

お知らせ

- 本製品の留守電設定（「電話に出られないときに相手の用件を録音する」☞47ページ）とは異なりますのでご注意ください。本製品の留守電設定では、サービスエリア外でメッセージを受け取ることはできません。
- 留守番電話サービスでメールをお預かりすることはできません。
- 留守番電話サービスをご利用いただくには、ウィルコムへお申し込みが必要です。

メッセージを確認する

待受画面で

1 4 1 ➡ (文字) または ◉【発信】➡

数秒後、「ツー」という音を確認し、(PWR)

上記操作後、ディスプレイをご確認ください。メッセージをお預かりしているときには「センター留守録あり」と表示されます。

メッセージを聞く 〈留守電サービス再生〉 機能番号912

■お使いの本製品からメッセージを聞く場合

待受画面で

【MENU】➡ 9 1 2 ➡ または【発信】➡ ガイダンスに従って操作する

お知らせ

- メッセージを聞く前に、だれからのメッセージかを確認するには、以下の手順で行います(発信者番号読み上げサービス)。
  待受画面で ＊ 9 3 1 1 ➡ または **【発信】**

■一般電話や公衆電話からメッセージを聞く場合

0077-780-931に電話をかける ➡ ガイダンスに従って操作する

お使いの本製品の電話番号と、留守番電話サービスの暗証番号の入力が必要です。

お知らせ

- ここで入力する暗証番号は、留守番電話サービス専用の番号です。お使いの本製品の暗証番号とは異なります。
- プッシュ信号を送信できる電話機以外では、メッセージを聞くことはできません。

留守番電話サービスの設定を変更する 〈留守電サービス設定〉 機能番号911

留守番電話サービスの各種設定を変更します。受付時間は5：00～24：00（年中無休)です。

■お使いの本製品から設定を変更する場合

待受画面で

【MENU】➡ 9 1 1 ➡ または【発信】➡ ガイダンスに従って操作する

■一般電話や公衆電話から設定を変更する場合

0077-776に電話をかける ➡ ガイダンスに従って操作する

お使いの本製品の電話番号と、留守番電話サービスの暗証番号の入力が必要です。

お知らせ

- ここで入力する暗証番号は、留守番電話サービス専用の番号です。お使いの本製品の暗証番号とは異なります。
- プッシュ信号を送信できる電話機以外では、設定変更できません。

安全運転モードについて(申し込み不要)

運転中に電話がかかってきたときに、運転の妨げにならないようにウィルコムの基地局から、かけてきた相手に電話に出られないことをお知らせするメッセージを流すサービスです。
また、ウィルコムの留守番電話サービス(☞130ページ)にお申し込みいただくと、運転中にかかってきた相手のメッセージを留守番電話センターでお預かりすることもできます。

- ウィルコムの安全運転モードを利用するには、本製品の安全運転モードの応答先と応答方法を「ネットワーク録音する」または「ネットワーク応答のみ」に設定してください(☞50ページ)。
  - 「ネットワーク録音する」に設定するためには、あらかじめ「留守番電話サービス」へのお申し込みが必要です。
  - 「ネットワーク録音する」に設定したときのメッセージの再生方法は、留守番電話サービスでのメッセージを聞く場合と同じです(「メッセージを聞く」☞131ページ)。

料金分計サービスについて

ウィルコムでは、通話料金の請求先を2ヶ所に分けることができる「料金分計サービス」を行っています。ビジネスとプライベートの使い分けなどにご利用ください。ご利用にはあらかじめお申し込みが必要です。

- 料金分計の設定は1回の通話ごとに解除されます。
- 詳しくはウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。

お知らせ

- 料金分計サービスをご利用いただくには、ウィルコムへお申し込みが必要です。

料金分計で電話をかける

例：電話番号を入力して電話をかける場合

待受画面で

電話番号を入力 ➡ 【MENU】 ➡ (4) 「分計設定」➡ (文字) または 【発信】

通話が終わったら、(PWR) を押します。料金分計設定はこの通話のみで、次回以降利用する場合は同様に分計発信の操作をする必要があります。

お知らせ

- 料金分計サービスをお申し込みでない場合は、設定しても料金を分けることはできません。
- ライトメールでは、料金分計サービスをご利用になれません。
- 分計設定をすると、画面に「分計」が表示されます。
- 料金分計サービスは、以下の場合にもご利用が可能です。
  - 発信履歴や着信履歴から電話をかけるとき
- 分計設定をして発信した電話番号は、発信履歴詳細画面で電話番号を選択し、**【決定】**を押すと、画面に「分計」が表示されます。

10 ウィルコムの各種サービス

11 付　録

主な仕様

質量	約75 g（バッテリー装着時）
サイズ（幅×高さ×厚さ）	約45.0 mm × 125.0 mm × 14.3 mm
連続待受時間	約490時間
連続通話時間	約5.0時間
LCDサイズ（ヨコ×タテ）	約128 × 128ドット

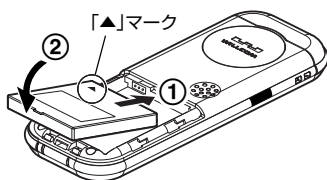
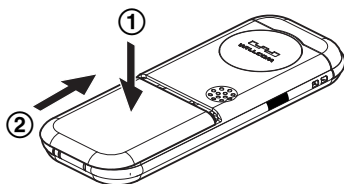
お知らせ

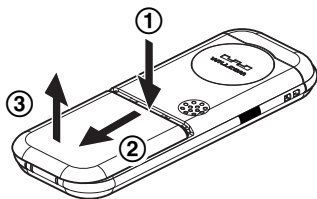
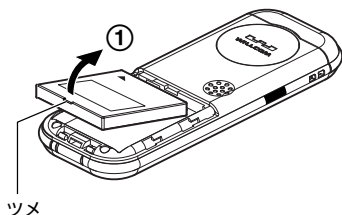
● 連続待受時間や連続通話時間は、充電状態や気温などの使用環境、使用場所の電波状態、機能の設定などにより短くなることがあります。

バッテリーの交換

お買い上げ時にはバッテリーは装着されていません。交換する場合は必ず電源をOFFにしてください。

バッテリーを取り付ける

❶ バッテリーのラベル面を上向きにして、「▲」マークの方向へ①のように差し込み、②の方向へしっかりと押し込む

❷ ①のようにバッテリーカバーを載せ、②の方向にスライドさせて確実に取り付ける

バッテリーを取り外す

❶ ①を押しながら、②の方向に止まるまでスライドさせ、③の方向にカバーを持ち上げて取り外す

❷ バッテリーのツメを持って、①の方向に取り外す

お願い

- バッテリーカバーは確実に取り付けてください。バッテリーカバーを確実に取り付けないと、水滴などが浸入し、故障の原因となります。
- 取り付け／取り外しの際にバッテリーに無理な力を加えたり、無理に挿入しないでください。傷害、故障、破損の原因になります。

故障とお考えになる前に

まず、以下のことをご確認ください。それでも改善されない場合は、当社サポートデスクまでお問い合わせください。

本体について

症状	原因
電源が入らない	● (PWR) を約5秒以上押していますか(☞33ページ)。 ● バッテリーは正しく取り付けられていますか(☞134ページ)。 ● バッテリーは十分に充電されていますか(☞24、31ページ)。
電話がかけられない	● 発信先番号に登録されている電話番号ですか(☞36ページ)。 ● 電話番号が間違っていませんか(市外局番からダイヤルしていますか)。 ●「圏外」が表示されていませんか(☞24ページ)。 ● サービスエリア外、または電波の届きにくい場所にいませんか(☞24ページ)。 ● 停波モードを設定していませんか(☞123ページ)。 ● (文字) を押しましたか(☞36ページ)。 ● ダイヤルロックが設定されていませんか。本製品の暗証番号を入力して解除してください(☞109ページ)。 ● W-SIMを取り付けていますか(☞32ページ)。 ● W-SIMが抜けていませんか(☞32ページ)。
着信音が鳴らない	● 着信音量が「OFF」に設定されていませんか(☞97ページ)。 ● マナーモードが設定されていませんか(☞51ページ)。 ● 安全運転モードが設定されていませんか(☞49ページ)。
電話がかかってこない	● 着信番号に登録されている電話番号ですか(☞42ページ)。 ● サービスエリア外、または電波の届きにくい場所にいませんか(☞24ページ)。 ● 停波モードを設定していませんか(☞123ページ)。 ● 電源を「OFF」にしていませんか(☞33ページ)。 ● W-SIMを取り付けていますか(☞32ページ)。 ● W-SIMが抜けていませんか(☞32ページ)。
充電ができない	● ACアダプタをコンセントに差し込んでいますか(☞31ページ)。 ● 周囲の温度が高いかもしくは低いと保護機能がはたらき、充電できない場合があります(☞31ページ)。
バッテリーを利用できる時間が短い	● 圏外や電波の届きにくい場所でのご利用やメールなどのご利用が多い場合は、バッテリーの消耗が早くなります。 ● 通常のご使用で利用時間が短い場合はバッテリーの寿命です。交換してください。
相手の声が聞こえない	● 受話音量が最小になっていませんか(☞43、101ページ)。
キーを押しても反応しない	● キーロックを設定していませんか？(☞108ページ)。

メールについて

症状	原因
メールを受信できない	●「圏外」が表示されていませんか(☞24ページ)。 ●受信するメールは発着信電話番号に登録されている電話番号からですか(☞84ページ)。 ●受信するメールはライトメールですか(☞80ページ)。 ●サービスエリア外、または電波の届きにくい場所にいませんか(☞24ページ)。 ●停波モードを設定していませんか(☞123ページ)。 ●W-SIMを取り付けていますか(☞32ページ)。 ●W-SIMが抜けていませんか(☞32ページ)。
受信メールの絵文字が見えない	●異なる機種の電話機から送信されたメールでは、絵文字が表示されない場合があります。
メールを送信できない	●「圏外」が表示されていませんか(☞24ページ)。 ●送信するメールの宛先は、発信先番号に登録されている電話番号ですか(☞67、80ページ)。 ●送信先の電話機は、ライトメールに対応していますか(☞80ページ)。 ●サービスエリア外、または電波の届きにくい場所にいませんか(☞24ページ)。 ●停波モードを設定していませんか(☞123ページ)。 ●発信番号通知が「OFF」に設定されていませんか(☞41ページ)。 ●相手の電話機がメール対応機種でない場合は送信できません。 ●電話番号は正しく入力されていますか。 ●W-SIMを取り付けていますか(☞32ページ)。 ●W-SIMが抜けていませんか(☞32ページ)。

携帯電話／PHSのリサイクルについて

携帯電話／PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となった携帯電話・PHSの本体、バッテリー、充電器を、ブランド／メーカーを問わず、モバイル・リサイクル・ネットワークのマーク（下記マーク）のある店舗で、無償で回収し、リサイクルを行っています。

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

やむを得ず、廃棄する場合は、各地方自治体の条例に従って処理するようお願い致します。
梱包材、同梱物につきましても分別にご協力ください。

お願い

- 回収した電話機、バッテリー、充電器はリサイクルするためにご返却できません。
- プライバシー保護のため、電話機に記憶されているお客様の情報（発着信電話番号、通信履歴、メールなど）は事前に消去してください（「登録内容や各機能の設定をリセットする」☞110ページ）。

機能一覧

以下の操作で利用できる機能番号の一覧です。

待受画面で

【MENU】➡ 機能番号を入力

1 メール					
機能番号			機能名	お買い上げ時の設定	参照ページ
11			新規作成		81
12			受信フォルダ		85
13			送信フォルダ		83
14			マイフォルダ	フォルダ1～5	87
15			メール設定		91
	151		定型文※	☞142ページ	62
	152		フォルダ名変更※	フォルダ1～5	91
	153		署名	未設定	92
	154		文字サイズ	標準	93
	155		メール送達確認音	ON	93

2 おと					
機能番号			機能名	お買い上げ時の設定	参照ページ
21			着信設定		96
	211		音声着信		96
		2111	着信音量	音量レベル2	97
		2112	着信メロディ	花のワルツ	98
		2113	バイブ設定	OFF	98
		2114	バイブ優先	OFF	99
		2115	LED設定	OFF	99
		2116	リマインダー設定	OFF	100
	212		ライトメール		96
		2121	着信音量	音量レベル2	97
		2122	着信メロディ	オモチャの兵隊のマーチ	98
		2123	バイブ設定	OFF	98
		2124	バイブ優先	OFF	99
		2125	LED設定	OFF	99
		2126	リマインダー設定	OFF	100
	213		マナーモード設定		51
		2131	バイブON／OFF設定	ON	52
		2132	LED設定	OFF	52
22			キー確認音	音量レベル2	100
23			保留音	カノン	101
24			受話音量	音量レベル3	101
25			通知音設定		102
	251		経過時間	OFF	102
	252		圏外警告音	OFF	102

つづく

3 がめん				
機能番号		機能名	お買い上げ時の設定	参照ページ
31		待受画面	OFF	104
32		バックライト		104
	321	液晶画面	20秒	104
	322	キーパッド	ON	105
33		輝度調整	レベル3	105
34		コントラスト	コントラスト3	105
35		動画設定	ON	106

4 とけい				
機能番号		機能名	お買い上げ時の設定	参照ページ
41		アラーム設定		118
	411	アラーム1	OFF	118
	412	アラーム2	OFF	118
	413	アラーム3	OFF	118
42		表示モード	24時間表示	120
43		日時設定※	2009年1月1日00：00	34
44		暦（こよみ）※	2009年1月	120

6 せってい				
機能番号		機能名	お買い上げ時の設定	参照ページ
61		小声通話	OFF	124
62		エニーキーアンサー	OFF	42
63		発信番号通知	ON	41
64		応答バイブ	OFF	124
65		ユーザ辞書		63
	651	辞書登録※	未登録	63
	652	学習辞書リセット※	－	64
66		LI設定※	OFF	125

7 あんぜん				
機能番号		機能名	お買い上げ時の設定	参照ページ
71		安心設定※	00000000	108
72		ダイヤルロック※	解除	109
73		暗証番号変更※	0000	109
74		設定リセット		110
	741	Function項目	－	110
	742	出荷時設定	－	110
75		W-SIM設定		111
	751	認証コード変更	－	111
	752	認証設定※	解除	111

8 どうぐ			
機能番号	機能名	お買い上げ時の設定	参照ページ
81	スケジュール	未登録	121
82	電卓	−	122
83	赤外線受信	−	116
84	メモ帳※	未登録	123
85	停波モード	OFF	123

9 るすでん					
機能番号			機能名	お買い上げ時の設定	参照ページ
91			留守電サービス		130
	911		留守電サービス設定	143	131
	912		留守電サービス再生	＊931	131
92			留守電機能		47
	921		留守電設定	OFF	47
		9211	留守電設定ON	固定	47
		9212	留守電設定OFF	−	47
	922		応答トーキ設定※	未登録	48
	923		留守録再生	−	48
93			安全運転モード	電話機録音する	50

※「Function項目」(☞110ページ)ではリセットされない機能です。

各機能の選択項目一覧

定型文一覧

No.	内容
1	にいます。
2	たすけて！！！
3	今から帰ります。
4	ちゃんといっしょです。
5	に行ってきます。
6	どこにいますか？
7	今、何してるの？
8	むかえに来てね。
9	ごめんなさい。
10	すぐ電話して！
11	塾に行きます。
12	学校にいます。
13	どこか遊びに行こうよ！
14	遊びに行ってもいい？
15	今電話できないから、後で電話するね。
16	これから帰ります。
17	時ごろに着きます。
18	おはよう。
19	おやすみ。
20	が痛い！！

記号一覧

半角記号

!"#$%&'()*+,-./:;<=
>?@[¥]^_`{|}~。「」、・゛゜

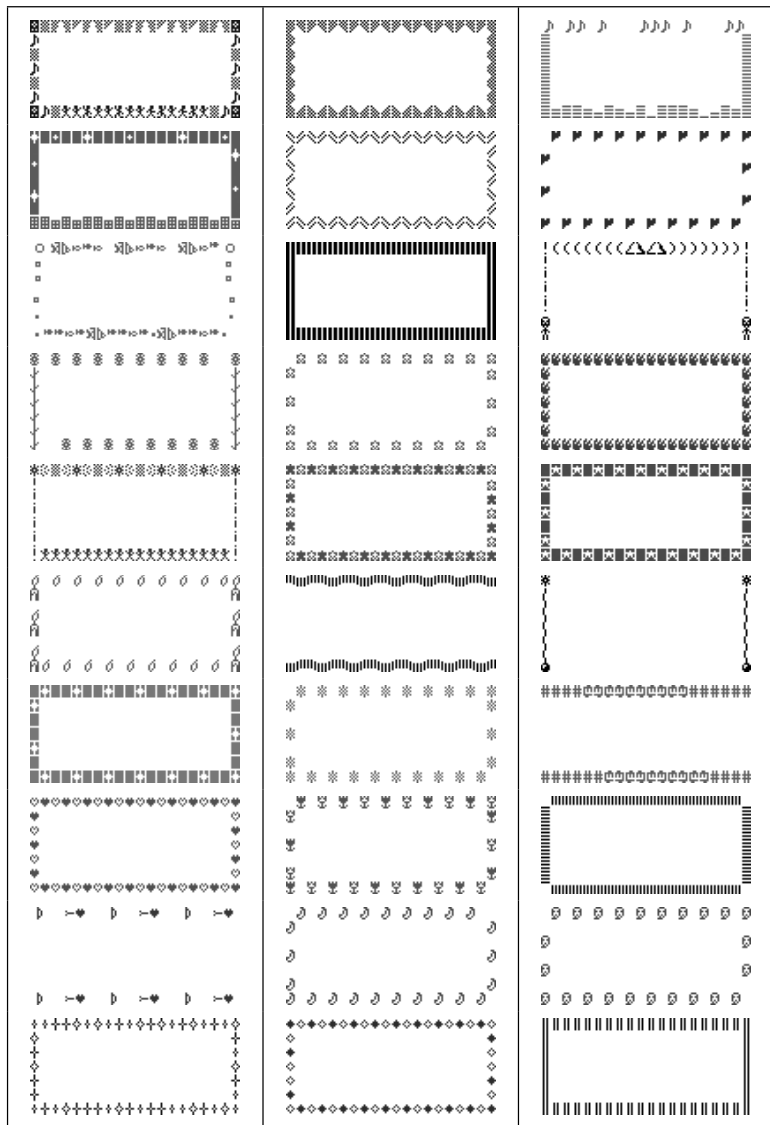
全角記号

、。，．・：；？！゛
゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝ
ゞ〃仝々〆〇ー―‐／
＼～∥｜…‥‘’“”
（）〔〕［］｛｝〈〉
《》「」『』【】＋－
±×÷＝≠＜＞≦≧∞
∴♂♀°′″℃￥＄¢
£％＃＆＊＠§☆★○
●◎◇◆□■△▲▽▼
※〒→←↑↓〓∈∋⊆
⊇⊂⊃∪∩∧∨￢⇒⇔
∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪
≫√∽∝∵∫∬Å‰♯
♭♪†‡¶◯ゐゑヰヱ
ヲンヴヵヶΑΒΓΔΕ
ΖΗΘΙΚΛΜΝΞΟ
ΠΡΣΤΥΦΧΨΩα
βγδεζηθικλ
μνξοπρστυφ

χψωАБВГДЕЁ
ЖЗИЙКЛМНОП
РСТУФХЦЧШЩ
ЪЫЬЭЮЯабвг
деёжзийклм
нопрстуфхц
чшщъыьэюя─
│┌┐┘└├┬┤┴┼
━┃┏┓┛┗┣┳┫┻
╋┠┯┨┷┿┝┰┥┸
╂①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲
⑳ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨ
Ⅹ㍉㌔㌢㍍㌘㌧㌃㌶㍑
㍗㌍㌦㌣㌫㍊㌻㎜㎝㎞
㎎㎏㏄㎡㍻〝〟№㏍℡
㊤㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹㍾㍽
㍼∮∑∟⊿

絵文字一覧

アニメーション絵文字一覧

フレーム一覧

110や119などの特別番号一覧

下記一覧の特別番号は、発信先番号に登録していなくても電話をかけることができます。

番号	名称	内容
110	**警察への事件・事故の急報**	警察の通信司令センターにつながります。 事件・事故の急報の際に電話をかけてください。
116	**ウィルコムサービスセンター総合窓口**	ウィルコムサービスセンターにつながります。 各種サービスのご案内や手続きなどにご利用いただけます（☞151ページ）。
117	**時報**	現在の時刻を確認できます。
118	**海上の事件・事故の急報**	海上保安庁につながります。 海上における事件・事故の緊急通報の際に電話をかけてください。
119	**火事・救助・救急車**	災害救急情報センターにつながります。 火事の緊急通報、救助・救急車の要請の際に電話をかけてください。
141	**留守番電話サービスメッセージ確認**	ウィルコムの留守番電話サービスでお預かりしたメッセージを確認できます。留守番電話サービスをご利用いただくには、あらかじめお申し込みが必要です(☞130ページ)。
143	**留守番電話サービス設定変更**	ウィルコムの留守番電話サービスの設定を変更できます。留守番電話サービスをご利用いただくには、あらかじめお申し込みが必要です(☞130ページ)。
171	**災害用伝言ダイヤル**	地震などの災害発生時には、多くの方がいっせいに電話をかけるため、電話がかかりにくくなります。災害用伝言ダイヤルは、このような電話がかかりにくい状態でも、家族間の安否確認や集合場所の連絡などにご利用いただけます。 「171」に電話をかけると、全国に設置された災害用伝言ダイヤルセンターにつながります。音声ガイダンスに従って、伝言の録音・再生を行ってください。
177	**天気予報**	電話をかけている地域の天気予報を確認できます。
＊931	**留守番電話サービスメッセージ再生**	ウィルコムの留守番電話サービスでお預かりしたメッセージを聞くことができます。留守番電話サービスをご利用いただくには、あらかじめお申し込みが必要です(☞130ページ)。
＊9311	**留守番電話発信者番号読み上げサービス**	ウィルコムの留守番電話サービスでお預かりしたメッセージの発信者番号を聞くことができます。留守番電話サービスをご利用いただくには、あらかじめお申し込みが必要です(☞130ページ)。

索引

11

付録

ラ行

お問い合わせ先

本製品に関する技術的なお問い合わせは、下記サポートデスクまでご連絡ください。
また、修理を依頼される場合は、ウィルコムサービスセンターまでご相談ください。

■ 株式会社ネットインデックス

サポートデスク（通話料有料）		
受付時間	月曜日～金曜日 （土／日／祝および当社休日を除く） 当社休日については、当社ホームページをご覧ください	9：00～17：30
電話番号	一般加入電話／公衆電話から	0570-041-888
	携帯電話／PHSから	03-5250-0700
URL	http://www.netindex.co.jp/	

■ ウィルコムサービスセンター

ご利用のお申し込み・お問い合わせ（通話料無料）		
受付時間	月曜日～土曜日（日／祝日を除く）	9：00～19：00
電話番号	ウィルコムの電話から	局番なしの116
	一般加入電話／公衆電話／携帯電話から	0120-921-156

■ 通話相手先電話番号の照会方法について

通話相手先限定サービスに登録している相手先電話番号を確認するときは、ウィルコムサービスセンターへお問い合わせいただくか、下記のURLにアクセスしてご確認ください。

通話相手先電話番号の照会	
URL	https://picnic.willcom-inc.com/number/

＊＊＊保 証 書＊＊＊

この保証書は本書記載内容で無償修理をお約束するものです。万一保証期間内に故障した場合は、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

製品名　WS005IN	シリアルNo.
保証期間	お買い上げ日より1年間
★お買い上げ日	年　　　月　　　日
★お客様	お名前　　　　様 ご住所　〒 電話番号　（　　）　―
★販売店	印

★印欄に記入のない場合は無効となりますのでご注意ください。
※修理・点検などのご相談はウィルコムサービスセンターまたは当社サポートデスクにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた個人情報は修理業務のために使用いたします。予めご了承ください。
※修理記録については修理伝票に記入いたします。

保 証 規 定

1. 取扱説明書、本体ラベル、その他注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合、保証期間内に限り無償修理、または他の機器との交換をいたします。
2. 本保証書はW-SIMを含みません。W-SIMの保証はW-SIM添付の保証書によります。
3. 保証期間内でも次のような場合は有償となります。
   (1)保証書の提示がない場合、または必要事項の記入がない場合、又は字句を書き換えられた場合
   (2)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障または損傷
   (3)不当な修理や改造、または異常電圧に起因する故障または損傷
   (4)使用中に生じた傷、汚れなど外観上の変化
   (5)火災、地震、水害、落雷などの天災地変ならびに公害や盗難、水没などによる故障または損傷
   (6)故障の原因が本製品以外にある場合
   (7)消耗部品の交換、仕様変更など
4. 本製品の故障、誤動作、不具合に起因する付随的損害につきまして当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
6. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※　本書による保証の他に、消費者に対して、製造者は製造物責任など、販売者は瑕疵担保責任などの法律上の責任をそれぞれ負っています。本書の発行によって、こうした製造者や販売者の責任を軽減したり免除したりといった影響を及ぼすものではありません。

製造元：株式会社 ネットインデックス

〒104-0031　東京都中央区京橋2-13-10　京橋MIDビル1F
URL http://www.netindex.co.jp/
サポートデスクTEL 0570-041-888（一般加入電話・公衆電話から）
03-5250-0700（携帯電話・PHSから）

初版　2009年06月
【NIX-M01-09001】

・この取扱説明書の印刷には大豆油インキを使用しています。
・この取扱説明書は再生紙を使用しています。